



令和8年度 J A山形おきたま

病害虫防除基準

(野 菜)

“安全・安心な野菜づくり”

栽培履歴の完全記入に取り組みましょう

営農経済部

園芸課	TEL:46-5302 FAX:46-5312
資材課	TEL:46-5304 FAX:46-5311
東部配送センター	TEL:58-0050 FAX:57-2015
西部配送センター	TEL:54-0047 FAX:54-0048

各地区経済支店

米 沢	TEL:37-2708 FAX:37-2678
高 畠	TEL:52-1211 FAX:52-1213
南 陽	TEL:45-3005 FAX:45-2071
川 西	TEL:42-2154 FAX:42-6253
長 井	TEL:88-9790 FAX:88-1594
白 鷹	TEL:85-5159 FAX:85-2962
飯 豊	TEL:72-2121 FAX:72-2010
小 国	TEL:62-5588 FAX:62-2039

目 次

栽培履歴の出荷前提出について	1
農薬の使用基準のポイント	2
農薬散布をするときは飛散（ドリフト）に注意しましょう！	3
RACコードをご存知ですか？	4
GAP（農業生産工程管理）の取り組みについて	5
やまがたGAP（抜粋）生産者用チェックシート	6
耕種的防除に関する事	7~9
●夏秋きゅうり	10
●ハウスきゅうり	11
●ハウス大玉トマト	12
●ミニトマト	13
●ハウスメロン	14
●ねぎ	15
●アスパラガス	16
●えだまめ	17
●食用菊・たらのき	18
●かぼちゃ・なす	19
●キャベツ	20
●野菜類に使える主な登録薬剤	21
混用事例集についての注意事項	22
きゅうり農薬混用適否表	23~26
トマト農薬混用適否表	27~30
メロン農薬混用適否表	31~32
ねぎ農薬混用適否表	33~34
野菜栽培履歴書の記入方法	35
野菜栽培履歴書用農薬コード表	36~38

※栽培履歴（OCR用紙）、GAPチェックシート等は別途配布します。

山形おきたま農業協同組合・J A全農山形県本部

J A山形おきたま 野菜振興会

注 意

栽培履歴の出荷前提出および事前チェックについて【お願い】

近年、食の安全安心については消費者の関心が非常に高まっており、産地としては安全で安心な農作物を供給する義務があります。当JAでは栽培履歴の記帳をはじめ、講習会等で適正な農薬の使用を呼びかけています。

平成27年度からはおきたま分析センターを廃止し全農山形へ農作物の分析を依頼しています。以前より分析検体数が少ないため、補完対策として事前に適正使用を確認できる“農業ナビゲーションシステム”を併せて活用することにより、安全安心を確保しています。

万が一、残留基準や農薬使用基準に適合しない農作物が発生した場合については、栽培履歴の事前チェックが適正使用の証明となります。**農薬の使用ごとの記帳と適正使用、事前提出を徹底頂きますようお願い致します。**

【農薬分析において異常値が検出された場合】

1. 無登録農薬（販売（使用）禁止農薬を含む。）が検出された場合

- ①検出された生産者 ⇒ 出荷自粛
- ②それ以外の生産者（出荷集団） ⇒ 出荷一時自粛 ⇒ **栽培履歴の全戸調査**
⇒ 使用がない場合は出荷

2. 適用外農薬が検出された場合

- ①検出された生産者 ⇒ 使用がある場合 ⇒ 出荷自粛
使用がない場合 ⇒ 分析で安全性を確認した場合は出荷
- ②それ以外の生産者（出荷集団） ⇒ 出荷一時自粛 ⇒ **栽培履歴の全戸調査**
⇒ 使用がない場合は出荷

3. 適用農薬の超過検出があった場合

- ①検出された生産者 ⇒
使用時期（日数）を満たしていない場合 ⇒ 必要日数を確保した上で出荷
分析で安全性を確認し出荷
農薬使用基準が遵守されていない場合 ⇒ 出荷自粛
- ②それ以外の生産者 ⇒ **栽培履歴の全戸調査**による安全性の確認後、出荷
※原因が特定できない場合は、出荷集団全戸の出荷自粛を継続し、検出された農家または出荷集団の構成員（それ以外の生産者）が再分析を行って安全性を確認後出荷

4. 残留基準や農薬使用基準に適合しない農作物が流通した場合

- ①出荷集団構成生産者全戸 ⇒ 出荷一時自粛及び自主回収、店頭へ表示
- ②栽培履歴等の全戸調査、または分析等での安全確認を行い、出荷再開を判断する
- ③産地の信頼が損なわれる、出荷先等への保証等の発生

【事例】①他県産野菜において、基準値超過の事案が発生。回収費用および見舞費用をあわせて3,000万円程度の補償金の支払義務が生じた。

②他県産野菜において、基準値超過の事案が発生。超過事例の報道後、当該JAの野菜は1円/kgでも買い手がつかず、他品目の取引価格は半値以下となった。

産地を守るため、履歴の記帳・出荷前提出を徹底しましょう！

◆農薬の使用基準のポイント

農薬を使用して病虫害防除や植物の成長調整等を行なう場合は、容器に記載されている注意事項をよく読み、農作物ごとに定められた使用量、希釈倍数、使用時期、使用回数および同一成分の総使用回数等を厳守し、安全で安心な農作物の生産を心がけましょう。

◇使用方法の遵守

容器のラベルに表示されている内容を守って使用します。

- ① その農薬に適用がない作物へは使用しないこと。
- ② 定められた使用量又は濃度を超えて使用しないこと。
- ③ 定められた使用時期を守ること。
- ④ 定められた総使用回数以内で使用すること。

★新しい農薬はもちろん、使い慣れた農薬でも、変更がある場合があるので、使用前に必ずラベルや最新の登録内容を確認しましょう。



◇防除記録の記帳

各作物ごとの栽培履歴に農薬を使用した内容を正確に記帳します。記帳した内容は、農薬を安全・適正に使用したことの証明となります。

◇農薬と農作物に関連する法律

農薬には、殺虫剤、殺菌剤、除草剤、植物成長調節剤、殺そ剤、忌避剤、展着剤、天敵昆虫があります。

【農薬取締法】(農水省)

農薬の製造、輸入、販売、使用などについて規制します。

【食品衛生法】(厚生労働省)

飲食に起因する衛生上の危害の発生を防止します。

このほかに、毒物劇物取締法、植物防疫法、環境基本法、水質汚濁防止法、消防法、水道法などがあり、全てを遵守する必要があります。



注意！

※必ず適用作物・対象病虫害・使用方法・使用時期・希釈倍数・使用量・使用回数を確認して農薬を使用して下さい。

農薬散布をするときには飛散(ドリフト)に注意しましょう！

残留農薬のポジティブリスト制度

▼食品衛生法・残留農薬のポジティブリスト制度が平成18年から始まりました。

▼この制度では、今まで残留農薬基準値がない農薬にも、0.01ppmという低い数値が基準値として設定されました。

▼この基準値をオーバーした生産物は、販売が禁止されるため、出荷停止・回収などの事態が想定されます。

つまり、これまで以上に気をつけなくてはならないのは……………**農薬の飛散**

どんなときに注意が必要？

使用しようとする農薬が周りの食用作物に登録（適用）のない場合 特に次の場合に注意が必要です！

1. 圃場同士の距離が近い時
2. 隣の食用作物の収穫が近づいてきた時
3. 飛散が起こりやすい散布方法の時

※風が強いほど飛散距離は大きくなります。 ※散布圃場に近い場所ほど飛散量は多くなります。

※飛散が多くなる傾向があるのは ・細かすぎる散布粒子のノズルを使う場合 ・散布圧力を上げすぎる場合

◆散布することを周りの栽培者に伝え、日頃からコミュニケーションをとるなど、地域の農業者同士の連絡を密にしておくことが重要です。

対策は？ 散布時に守りたいこと！

◎散布量が多くなりすぎないように気をつけましょう。 →散布は必要最小限の量と区域で行うようにしましょう。

◎風の弱い時に風向に気をつけて散布しましょう。 →風下に別の作物がある時はとくに注意が必要です。

◎散布の方向や位置に気をつけて散布しましょう。 →できるだけ作物の近くから、作物だけにかかるよう散布しましょう。 →圃場の端部での散布は外側から内側に向けて行うようにしましょう。

◎細かすぎる散布粒子のノズルは使わないようにし、散布圧力を上げすぎないようにしましょう。

→粒子が細かいほど、圧力を高めるほど飛散しやすくなります。

◎タンクやホースは毎日、洗いもれがないようきれいに洗っておきましょう。

こんな対策も有効！

◎周りの作物にも登録のある農薬を使用する。

◎飛散しにくい剤型（粒剤等）の農薬を使用する。

◎まわりの作物をネットやシートなどで遮へいし、一時的に覆う。

◆飛散をできるだけ減らすよう工夫して散布しましょう。また、農薬を散布したら必ず記帳するようにしましょう。

安全安心な農作物供給へ！

【GAP(農業生産工程管理)の取り組みについて】

【GAP】とは？

GAP（農業生産工程管理＝「良い農業のやり方」農業を行う上で違反や事故が発生しないようにするため、「点検項目」を決め、常にチェックしながら農業に取り組み、次に向けて「改善」を続けていくこと。

⇒年々、違反や事故が発生する可能性を小さくしていく取り組み。

【GAP 5本の柱】

1. 食品安全
安全で販売力のある「農産物」の生産
2. 環境保全
環境にやさしい農業の実践
3. 労働安全
作業者の安全と労働環境の向上
4. 人権・福祉
作業者の人権を保護し、労働環境を整備
5. 農場経営管理
品質・商品管理をしっかりと行う農場経営

Good Agricultural Practice (良い農業のやり方)

「Good=良い(プラス)」の反対は「Bad=悪い(リスク、改善点)」
農場内で起こる可能性のある
Badな部分を減らすことで、Goodな部分を増やしていく！

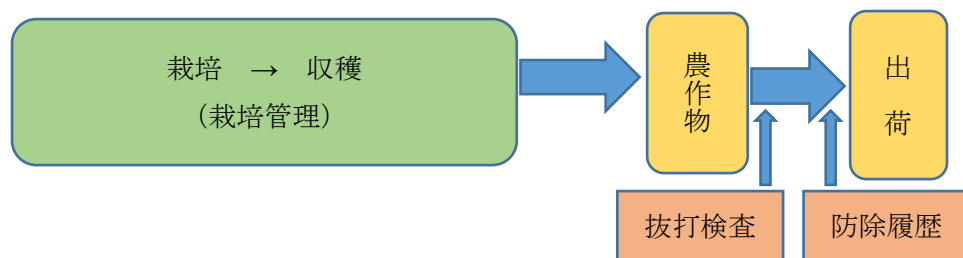
農場内のリスクを減らして

場内に  な取り組みを増やす。

農業生産活動(一次生産)で求められる工程管理

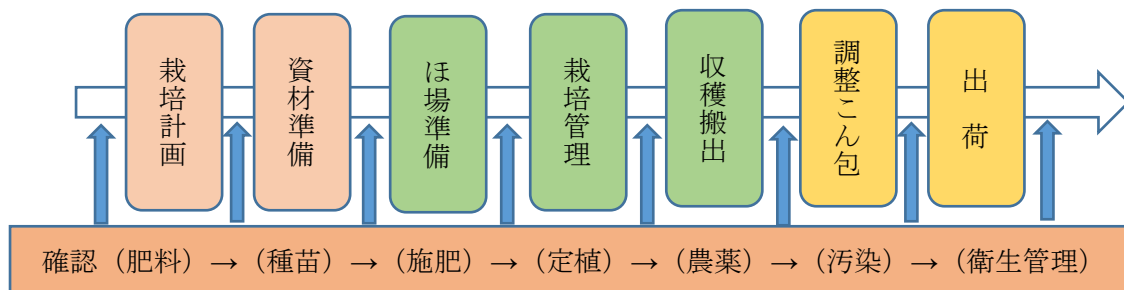
◎結果管理に基づく品質保証(ファイナルチェック方式) ⇒ 従来の管理法

<例>



◎生産工程管理に基づく品質保証(プロセスチェック方式) ⇒ 今後の管理法

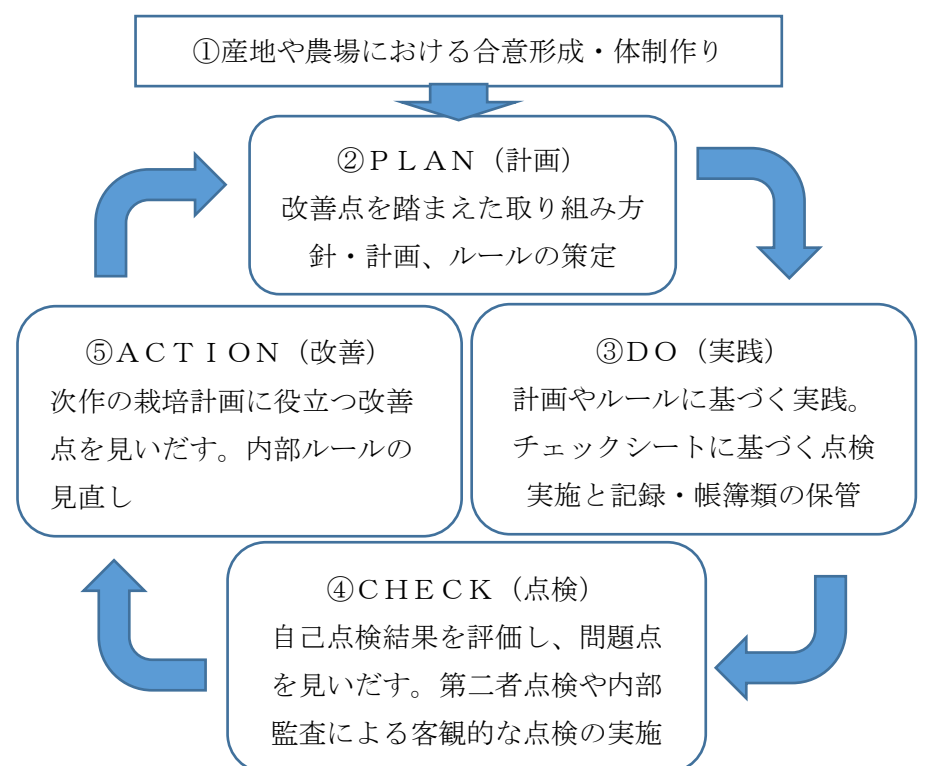
<例>



継続的な改善活動(PDCA)によるGAPの実践

◎GAPチェックシートでは適合基準を満たすよう生産活動を行います。(「ただ〇をつけるだけ」ではGAPの導入意義が薄れてしまいます。)

◎GAPのポイントは適切な時期に点検を行なうことです。正確な点検を行い、さらには集荷団体等からの第2者点検を受けることが大切で、評価・分析に基づく継続的な改善活動によりGAPの導入効果が高まります。



GAPをめぐる情勢

SDGs(持続可能な開発目標)への世界的な関心も高まり、環境保全や人権保護等への配慮が重要な行動規範として浸透されている中でスマート農業などの情報通信技術の導入が進み、ロボット、AI、IoTなどの先端技術が全国的に広く進められております。

GAPの取組が今後広がり、2030年までには国際水準に達する取組が浸透することを目標にGAPを推進しています。

JA山形おきたまのGAPの取り組み

平成30年度より、『山形県版農業生産工程管理(GAP)チェックシート』を活用し、GAPの取組みを開始しました。最初の取組みとして、第三者機関の認証を受けないGAPを実施し、GAPへの取り組みの浸透を図りました。

今年度も栽培履歴および農業生産工程管理チェックシート(当面の間、山形県版農業生産工程管理(GAP)生産者用チェックシートを活用。)の提出が必要となります。※面積等の変更がある場合は安全安心協定書の再提出が必要。



やまがたGAP 抜粋 生産者用チェックシート【青果物(果樹・野菜)】

氏名	品目名 (複数品目の場合は全品目を記入ください)	所産地
----	--------------------------	-----

○本シートは、農業生産活動の各工程における「食品安全（農薬適正使用）」に重点をおいて「管理点」を抜粋し、「適合基準（正しいやり方・特に9ハネ条件）」を作成したものです。
 ○「記録簿」に「整備」と記載している「適合基準」は記録簿を整備・保管しておく必要が異なります。
 ○「適合基準」を全て満たすことを目標にして生産活動を行いましう。

チェックシートの記入方法

『評価欄』には○、×、△、－、を記入します
 ○：適合基準を満たすように実施できている。 ×：取り組みができていない。
 △：取り組んでいるが一部できていない。 －：自分には該当しない項目である。

管理点 番号	適合基準	記録簿	評価
4	農薬の使用履歴等の栽培履歴を記録している。	整備	
14	農薬は（農産物取扱い所等と明確に区分された）専用の場所 で保管している。また、開封した農薬の保管は、ごぼれた り、他の農薬容器に付着しないように管理している【法令上 の義務を含む】。	-	
15	防除計画に基づき、農水省登録のある農薬を適正に使用 （【法令上の義務】）するとともに、農薬ラベルの記載事項 を事前に確認してから散布している。 また、使用基準（適用作物、使用回数、使用時期、希釈倍数 または使用量）を厳守している【法令上の義務】。	整備	
16	前作で使用した農薬を把握しており、今作の作物に残留しな いことを確認している。	-	
16	防除器具（ホース含む）が洗浄され、前回散布の農薬が残っ ていない。	-	
16, 24	収穫する作物について、園地外からのドリフトに注意してい る。また、隣接園地や近隣の住宅地等に配慮した防除を行って いる【法令上の義務】。	-	
22	農薬の使用残がでないように必要な量だけを調整している。 また、使用後にタンク等を洗浄する場合、ほ場内で適切に処 分し、水路や河川に流入しないようにしている。	-	
23	発生子察情報やほ場の観察により、防除要否や防除時期を判 断している。	-	

やまがたGAPは、農業生産活動における食品安全 環境保全 労働安全、
 人権保護、管理全般（農場経営管理を含む）に関する「管理点」を定めた
 ものです（下記項目参照）。
 このチェックシートでは、特に重要な「食品安全（農薬適正使用）」を抜
 粋しました。「食品安全」に重点的に取組むとともに、いずれは下記項目の
 すべてに取組むようにしましう。
 各管理点の「適合基準」等の詳細は右記QRコードを参照ください。



標準様式第4号
やまがたGAP生産者用
チェックシート
【青果物】

1 管理全般
1 農業生産工程管理（GAP）に取り組んでいる
2 登録種苗や技術・ノウハウ（知的財産）を保護、活用している
3 農産物の生産に関する伝票類・収書等を保管している
4 栽培情報・生産資材の使用履歴を記録している
5 帳簿類を整備している
6 GAPの取組みについて外部委託先と合意している
2 食品安全
7 農産物取扱い工程の明確化とリスク評価を行っている
8 ほ場の土の安全性を確認している
9 栽培から出荷まで、安全性が確保された水を使用している
10 肥料等の安全性を確認している
11 肥料の保管管理を適切に行っている
12 肥料を適切に使用している
13 堆肥や有機物を適切に使用している
14 農薬の保管管理を適切に行っている
15 農薬は適切に使用している
16 残留農薬のおそれがない農産物を生産・出荷している
17 仕場やハウスマシ等を衛生的に管理している
18 農作業・収穫・運搬・輸送の工程は衛生的に管理している
19 施設の衛生管理に必要な措置を講じている
20 作業者からの汚染防止の措置を講じている
3 環境保全
21 肥料や堆肥による汚染を防いでいる
22 農薬による汚染を防いでいる
23 化学農薬に過度に依存しない防除法を実践している
24 農薬のドリフト防止対策を行っている
25 周辺環境に配慮した農業生産活動を実践している
26 環境に配慮した農業を実践している
4 労働安全
27 労働安全のリスク評価を行っている
28 適切な服装及び保護具を着用している
29 事故防止のための作業環境整備及び機械作業時の安全対策を講じている
30 事故時・事故後の備えを整えている
5 人権保護
31 労働条件を遵守している
32 雇用や待遇で差別をしていない
33 外国人技能実習生などに快適な住環境を提供している
34 労働者とコミュニケーションをとっている

【問い合わせ先】 県庁農業技術環境課（023-630-2481）、所属集荷団体

令和8年度 野菜類耕種的・物理的防除、発生予察に基づく防除

◇ 野菜共通

JAS山形おきたま 野菜振興会

対象病害虫名	防除方法				
病害虫全般	1. ほ場周辺を含め、除草に努める。 2. 連作をしない。				
病害全般	1. 高畦栽培を行うなど、圃場の排水対策を徹底する。 2. 施設栽培では、過湿を防ぐため換気を図る。				
立枯病、青枯病などの土壌病害	1. 土壌を蒸気消毒する。				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>病害虫名</th> <th>消毒の方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>立枯病、青枯病等の土壌病害</td> <td>60℃で30分間又は80℃以上10～15分間均一に行う。</td> </tr> </tbody> </table>	病害虫名	消毒の方法	立枯病、青枯病等の土壌病害	60℃で30分間又は80℃以上10～15分間均一に行う。
	病害虫名	消毒の方法			
	立枯病、青枯病等の土壌病害	60℃で30分間又は80℃以上10～15分間均一に行う。			
2. 土壌を太陽熱消毒する。 ハウスでは、7月中旬～8月下旬の夏期高温時を利用して、約1ヶ月間ハウスを密閉して高温状態を保ち土壌中の線虫密度を低下させることができる。 また、雑草の防除や土壌病害の抑制にも効果がみられる。					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>病害虫名</th> <th>消毒の方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>立枯病、青枯病等の土壌病害</td> <td>①有機物(5～10cmに切断したわら等)10a当たり1～2tと石灰窒素10a当たり100kgを散布して、耕土層によく混ざるようにすき込む。 ②高さ30cm、幅60～70cmの畦を立て、透明のビニール等で地表全面を被覆する。 ③ビニールマルチ下の畦間に灌水し、一時湛水状態にする。 ④ハウスを密閉する。ハウスの破損箇所は補修し、出入り口の密閉度をよくする。 ⑤処理期間は20～30日とする。処理後はハウスを開放し、ビニールを除去する。</td> </tr> </tbody> </table>	病害虫名	消毒の方法	立枯病、青枯病等の土壌病害	①有機物(5～10cmに切断したわら等)10a当たり1～2tと石灰窒素10a当たり100kgを散布して、耕土層によく混ざるようにすき込む。 ②高さ30cm、幅60～70cmの畦を立て、透明のビニール等で地表全面を被覆する。 ③ビニールマルチ下の畦間に灌水し、一時湛水状態にする。 ④ハウスを密閉する。ハウスの破損箇所は補修し、出入り口の密閉度をよくする。 ⑤処理期間は20～30日とする。処理後はハウスを開放し、ビニールを除去する。	
病害虫名	消毒の方法				
立枯病、青枯病等の土壌病害	①有機物(5～10cmに切断したわら等)10a当たり1～2tと石灰窒素10a当たり100kgを散布して、耕土層によく混ざるようにすき込む。 ②高さ30cm、幅60～70cmの畦を立て、透明のビニール等で地表全面を被覆する。 ③ビニールマルチ下の畦間に灌水し、一時湛水状態にする。 ④ハウスを密閉する。ハウスの破損箇所は補修し、出入り口の密閉度をよくする。 ⑤処理期間は20～30日とする。処理後はハウスを開放し、ビニールを除去する。				
ウリ科 ホモプシス 根腐病	1. きゅうりなどのウリ科に発生し、生育期間中に萎れがみられ、被害が進むと枯死する。近年、拡大している土壌病害で台木品種では対応できない。 2. 感染圃場で使用した管理作業機・支柱等の資材・長靴に付着した土壌に含まれる病原菌等によって他の圃場に伝染する。 3. 対策は露地の場合はクロルピクリン剤による土壌消毒・圃場移転、ハウスの場合は太陽熱消毒・土壌還元消毒・クロルピクリン剤による土壌消毒・圃場移転等がある。 4. 最も効果的な対策は、圃場衛生管理の徹底、病原菌の侵入と拡散防止に努めることである。				
ウイルス性病害	1. 発病株は早期に抜取り、適切に処分する。 2. 発病株に触れた手で健全株に触れないようにする。 3. 雑草等に越冬するアブラムシ類(ウイルス保毒)は、ウイルス病(モザイク病)を媒介するため、栽培終了後及び定植前に圃場周辺の除草管理を徹底する。				
菌核病 灰色かび病	1. 過湿にならないようハウス内の換気を図る。 2. 近紫外線除去フィルムを使用する。(受粉用の訪花昆虫を利用する場合、また、紫色の色素を作る作物【なすや食用菊「もつてのほか」等】の栽培に適さない。) 3. 発病部は見つけしだい取り除き、圃場外に搬出し、適切に処分する。				
チョウ目害虫	◇ 物理的防除 1. 施設栽培では、出入り口や側面に寒冷紗を張る。 2. 露地栽培では、飛来を防ぐため、寒冷紗による「うきがけ:スポーク支柱の上に被覆」や「べたがけ:作物に直接被覆(パオパオ・ラブシート等)」を行う。 3. チョウ目害虫の卵塊の除去及び幼虫の捕殺を行う。				
	◇ 薬剤防除 1. 交信攪乱剤(性フェロモン剤)による防除 ※剤の設置前にフェロモントラップを設置して発生の有無を確認する。				
アブラムシ類	1. 有翅虫の飛来を抑制するため、シルバーストライプマルチを使用する。 2. 施設栽培では、出入り口や側面に寒冷紗を張る。 3. 近紫外線除去フィルムを使用する。(受粉用の訪花昆虫を利用する場合、また、紫色の色素を作る作物【なすや食用菊「もつてのほか」等】の栽培に適さない。)				
コナジラミ類	1. 施設栽培では、出入り口や側面に寒冷紗を張る。 2. 近紫外線除去フィルムを使用する。(受粉用の訪花昆虫を利用する場合、また、紫色の色素を作る作物【なすや食用菊「もつてのほか」等】の栽培に適さない。)				
アザミウマ類	◇ 耕種的防除 1. ハウス栽培では成虫の侵入を防止するため開口部に防虫ネット(赤色・白色、0.8mm目)、寒冷紗(白色、1mm目)を設置する。 2. 成虫を絶食状態にすると数日で死滅するので、施設では収穫終了後完全に密閉し、更に作物及び雑草を枯死させる。 3. 露地の発生ほ場では、収穫が終了したら被害植物は適切に処分する。 4. ほ場及びほ場周辺の雑草にも寄生するので、除草を徹底する。 5. 近紫外線除去フィルムを使用する。(受粉用の訪花昆虫を利用する場合、また、紫色の色素を作る作物【なすや食用菊「もつてのほか」等】の栽培に適さない。)				
	◇ 発生予察に基づく防除 ほ場内外の作物体付近に粘着トラップを設置し、対象病害虫の発生時期や発生量(飛来・侵入・増殖の状況)を早期に把握し、低密度時に防除を徹底する。 ※アブラムシ類、コナジラミ類、ハモグリバエ類は黄色、アザミウマ類は青色に誘引される。				
土壌線虫	◇ 耕種的防除(薬剤紹介についてはP9参照) 1. 連作を避ける。 2. 抵抗性品種を作付けする。 3. ネグサレセンチュウの発生しているほ場では、マリーゴールド(フレンチ種またはアフリカントール)を3ヶ月以上栽培(輪作)し、すき込む。 4. キタネグサレセンチュウはさといもとの輪作で密度を低下させることができる。 5. ネコブセンチュウの発生しているほ場では、マリーゴールド(アフリカントール)やクロタリヤ、ハイオーツを3ヶ月以上栽培し、すき込む。 6. 早生のえだまめでダイズシストセンチュウが発生している場合は収穫後にクロタリヤを70日以上栽培し、すき込む。 なお、十分な生育量が確保できるよう、8月中旬までに播種を行う。				
	◇ 物理的防除 上記の立枯病、青枯病等の土壌病害の項「2. 土壌を太陽熱消毒する」参照。				
タネバエ	魚かす、油かす、米ぬか、牛糞、鶏糞、堆肥等、有機物を施用するとタネバエが発生しやすくなる。特に、未熟なものは完熟したものに比べ発生が多くなる。 有機物を施用する場合は、早めに施用してすき込むとともに作物の出芽を促すため砕土を丁寧に行う。				
ネキリムシ類	雑草への産卵を抑えるため、圃場周辺も含め、は種前・定植前から除草を徹底する。				
ナメクジ類 カタツムリ類	◇ 耕種的防除(薬剤紹介についてはP9参照) 1. 湿潤な場所に発生が多いので、ほ場の排水を良くし、ほ場の環境を改善する。 2. 餌となる作物残渣や雑草などをほ場内から除去し、清潔にする。 3. 石灰の不足した酸性土壌に発生が多いので、定植前に石灰資材を施用し、中性からやや酸性の土壌に改良する。 4. 施設栽培では、夏季に太陽熱消毒を行うことによりハウス内のナメクジ類を完全に防除できる。				

【令和7年12月10日現在の登録内容に基づいて記載しています。】

令和8年度 害獣（野鼠・モグラ・イノシシ）対策について

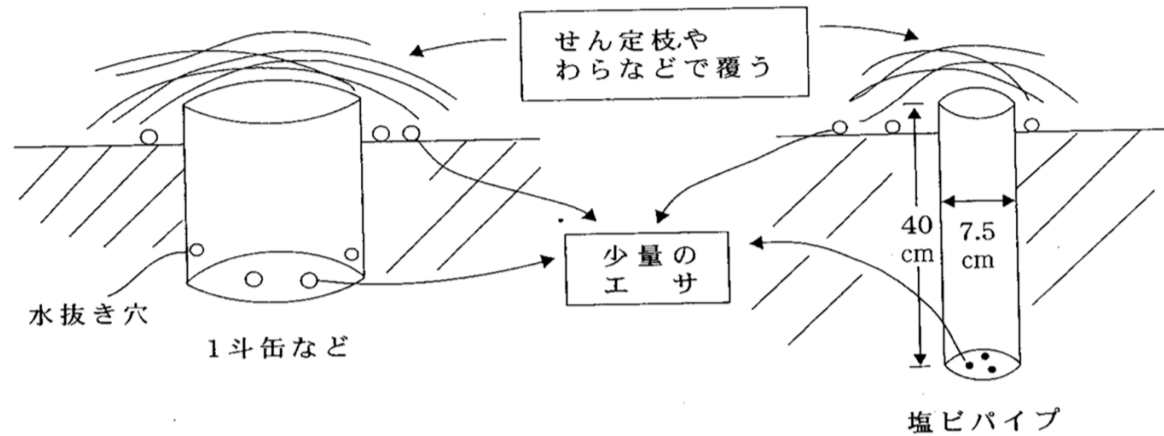
JA山形おきたま 野菜振興会

◆野鼠の防除

耕種的・物理的防除

秋季(根雪前)、春季、夏季に、

- 野鼠が侵入・定着しないよう、ほ場や周辺の清掃・除草や隠れ場所となるような資材の撤去を行う。
- 野鼠の増殖を抑制するため、ほ場内に餌となる農作物残渣(アスパラガスの茎葉など)を残さない。
- ネズミとり器や粘着板を利用する。この際、鼠は暗所を好むこと、また壁などに沿って移動する習性を利用し、ネズミとり器は壁面に肥料袋などで覆って設置する。また、ネズミとり器を設置後数日は、ネズミとり器の周辺に餌をまき警戒心を与えないように配慮する。
- 簡易なトラップを利用した駆除も周年駆除法として有効。
10a当たり5～6か所に、1斗缶や、塩ビパイプ(直径7.5cm×40cm)等を上部1～2cm残して地中に埋め、上部の穴をせん定枝やわらで広く覆い、時々捕殺を確認する。(下図参照)



ハウス内作物の野鼠対策

- 野鼠が侵入・定着しないよう、ハウス内には隠れ場所となるような資材を置かない。
- ハウスの外縁部は内側、外側とも踏み固めておく。
- 野鼠が侵入した場合は、鼠穴や通路(作物の残渣を引き込んだり糞が見られる場所)に金網製の「ネズミとり器」や「粘着板」を置いて捕殺する。
※ ネズミは暗い場所に落ち着き、壁などに沿って移動する習性があるため、捕獲器は、壁面に肥料袋などで覆っておく。捕獲器の設置後数日は捕獲器周辺に餌をまいて捕獲器への警戒心を与えないように配慮する。発生が多い場所では、周年設置して被害を防ぐことと、ハウス周辺の環境をきれいにし同時に防除対策も行う。

◆薬剤による防除 水田、畑地、果樹園、桑園は下記の薬剤により防除する。

- 農作物の少ない秋季および春季の防除を徹底する。
※ ペットや家畜への二次的な危害を防止するため、家畜施設や住宅地周辺では使用しない。

(1) リン化亜鉛

対象害獣	薬剤名	農薬の成分系	使用量	適用場所	使用方法
野ソ	強力ラテミン(劇)	リン化亜鉛	1～2g(15～30粒)/ソ穴1ヶ所	農地	ソ穴に1ヶ所当り1～2g(15～30粒)宛そのままあるいは小袋詰を投入する。
	Z・P 1.00	リン化亜鉛	50～200g/10a	農地	本剤を3～5g紙包み、または、そのままソ穴に投入するか、10a当り10～40カ所に適宜配置する。

(2) ダイファシン系粒剤

対象害獣	薬剤名	農薬の成分系	使用量	適用場所	使用方法
野ソ	ヤソチオン(劇)	ダイファシン	200～300g/10a	農地	本剤5gをそのまま、あるいは5gの小袋詰をソ穴に投入するか、野ソの通路に配置する。

(3) クマリン系剤

対象害獣	薬剤名	農薬の成分系	使用量	適用場所	使用方法
野ソ	ラットシードF	クマリン系	5～10g/ソ穴1ヶ所	農地	ソ穴(1ヶ所当り5～10g)をそのまま又は、防水性紙袋として投入する。

◆モグラの防除

耕種的・物理的防除

- 振動を嫌う性質があるので、ほ場のところどころに風車を立て、その振動が地中に伝わるようにする。
- 周囲に深さ1m程度の溝を掘り、ほ場への侵入を防ぐ。
- トンネルの本道に罠を仕掛けて捕殺する。この場合、人のにおいがつかないように素手では持たない。

◆イノシシ対策

イノシシを寄せ付けけない環境作りと物理的防除

- ほ場周辺や耕作放棄地の除草を定期的に行い、イノシシの隠れ家となるような場所を作らない。
- イノシシの餌となる農作物残渣(収穫残渣や間引いた株など)をほ場内に残さない。
※ 収穫せずに放置された果樹は、イノシシの格好のエサ場となることから、地域の合意の上で可能な限り伐採する。
- 防護柵(電気柵等)を設置し、イノシシの侵入防止に努める。(電気柵は感電防止の為、人が安易に立ち入らない場所に設置し、危険表示板を複数設置する。)

【令和7年12月10日現在の登録内容に基づいて記載しています。】

令和8年度 害虫（ナメクジ類・カタツムリ類）・土壌線虫・雑草の防除について

JA山形おきたま 野菜振興会

◆ナメクジ類・カタツムリ類の防除

薬剤による防除

	薬剤名	対象病害虫	対象作物名	使用量・希釈倍数	使用時期／適用場所	使用方法	使用回数
1	スラゴ	カタツムリ類、ナメクジ類	カタツムリ類・ナメクジ類が加害する農作物等	1g～5g/m ²	発生時 温室、ハウス、圃場、花壇	ナメクジ類及びカタツムリ類の発生あるいは加害を受けた場所又は株元に配置する。	—
2	ナメクリーン3	ナメクジ類	アスパラガス	1～3kg/10a	収穫前日まで	株元散布	2回以内
		カタツムリ類、ナメクジ類	キャベツ	1～3kg/10a	収穫14日前まで		

◆土壌線虫（ネコブセンチュウ）の防除

各薬剤の使用法

ハウス内で使用する場合は、処理後ハウスを開放し、ガス（薬剤）がハウス内に残らないよう十分注意する。

	薬剤名	対象病害虫	使用時期	対象作物名	使用量・希釈倍数 使用方法	使用方法	使用回数
1	ネマキック粒剤	ネコブセンチュウ	定植前	きゅうり トマト・ミニトマト なす・メロン	15～20kg/10a 全面土壌混和	1. 定植前に散布する。※詳しくは各作物毎の使用法を確認する。 2. 散布後、表層から20cm程度の深さまで混和ムラがないようにていねいに土壌と混和する。 3. 土壌が乾燥している時は、使用しない。	1回
2	ガードホープ液剤（劇）		収穫28日前まで	メロン	4000倍 散布液量2ℓ/m ² 土壌灌注	1. 処理時にネコブが着生している根は回復しないので、発生初期に使用する。 2. 処理後根系への薬剤の移動を促すため、生育期に使用する場合は早い時期に1㎡当たり5～20Lの水をかん注する。 3. 作物の葉にかからないように散布する。※詳しくは各作物毎の使用法を確認する。	1回
			収穫前日まで	トマト・ミニトマト			

◆雑草の防除

耕種的・物理的防除

- は種（定植）前に間隔をあけて2回耕起することにより雑草の発生を軽減できる。
これは1度軽く耕起することで一斉に雑草を発芽させ、これをは種前にもう一度耕起してすきこむ方法である。
- 水田転作畑では、いったん水田に戻し田畑輪換を行う。
- 中耕（培土）を行う。
- 土壌の蒸気消毒や太陽熱消毒を行う。

野菜に除草剤を使用する場合の一般的留意事項

- 薬量並びに散布面積は正確に秤量、測定する。
- 除草剤を薄める水の量は、噴霧機使用の場合は10a当たり100リットルが目安となるが、必ず登録内容を確認して使用する。
- 薬効は土壌水分との関連が深く、乾燥状態では効果が低い。なお、散布直後の降雨は除草効果を低くするばかりではなく、薬害を起す危険性もあるので降雨が予想される場合は使用を避ける。
- 土壌処理剤は土壌処理後3～4週間は土壌を攪拌しない方が効果期間が長い。
- 散布機具及び容器は専用のものを使用し、使用後は石鹼水で十分洗う。
- 催芽種子を播きつけた場合は、薬害の恐れがあるので除草剤の使用は避ける。
- 水田転作畑での使用は、土塊をよく砕き土壌表面を均一にする。
- ハウス内での除草剤の使用は薬害が発生しやすいので避ける。
- 除草剤だけでは完全な除草効果は期待できないので、中耕土寄せ・敷ワラ・ポリマルチ等の総合的な対策を行うことが重要である。
- 散布に使用した器具及び容器を洗った水や残液は、川や池等に流入しないように注意する。
- はくさい・ほうれんそう・だいこん等では、除草剤を使用した場合は間引いたものを食用にしない。

カソロン粒剤使用跡地の薬害に注意

- カソロン粒剤を使用した圃地では野菜（すいか・かぼちゃ・きく等）は作付けしない。（葉枯れ、生育阻害、発芽阻害、落葉の恐れがある。）

【令和7年12月10日現在の登録内容に基づいて記載しています。】

令和8年度 夏秋きゅうり 病害虫防除基準

JA山形おきたま きゅうり振興部会

時期	対象病害虫	薬剤名	RACコード	使用方法	使用時期 (収穫まで)	効果 使用回数	注意事項	
育苗期	苗立枯病	オーソサイド水和剤80	M4	800倍 灌注	は種後から 2~3葉期まで	○ 5回	2ℓ/㎡	
	アブラムシ類	ダントツ粒剤	4A	2g/株 株元処理	育苗期後半	— 1回	※育苗期の株元処理及び定植時の土壌混和は合計1回以内 購入苗を定植する場合は、育苗期の使用実績を確認すること	
定植時		アブラムシ類	ベリマークSC	28	400株あたり 25ml灌注	育苗期 後半~ 定植当日	— 1回	＜使用例＞ 400倍の希釈液を1ポットあたり25ml灌注する。
	ダントツ粒剤		4A	2g/株 植穴処理土壌混和	定植時	— 1回	※育苗期の株元処理及び定植時の土壌混和は合計1回以内 購入苗を定植する場合は、育苗期の使用実績を確認すること	
定植時	斑点細菌病	オリゼメート粒剤	P2	5g/株 植穴土壌混和	定植時	○ 1回	薬害防止のため、軟弱徒長苗には使用しないこと 本剤を処理する場合は植穴の土壌と十分混和すること	
	つる枯病	トップジンMペースト ★ ※1	1	原液	塗布	発病初期	● 5回	
生育期	黒星病	ジマンダイセン水和剤	M3	600倍	散布	前日	○ 3回	疫病・褐斑病・炭疽病・つる枯病・斑点細菌病・べと病にも適用あり
		スコア顆粒水和剤	3	2000倍			● 3回	うどんこ病にも適用あり
生育期	べと病	ダコニール1000 ※2	M5	1000倍	散布	前日	○ 12回	炭疽病・うどんこ病・褐斑病・黒星病にも適用あり
		ドーシャスフロアブル ※2	21・M5	1000倍			○ 4回	炭疽病・うどんこ病・褐斑病・黒星病にも適用あり
		ダイナモ顆粒水和剤 ※5	21・27	2000倍			○ 3回	
		カーニバル水和剤 ※2	40・M5	1000倍			● 3回	炭疽病・うどんこ病・褐斑病にも適用あり
		プロポーズ顆粒水和剤 ※2 ※3	40・M5	1000倍			● 3回	うどんこ病・褐斑病・黒星病にも適用あり
		ジャストフィットフロアブル ※3	43・40	5000倍			● 3回	
		ホライズンドライフロアブル ※5	27・11	2500倍			● 3回	
		ファンベル顆粒水和剤 ※4	M7・11	1000倍			● 3回	褐斑病・菌核病・黒星病・炭疽病にも適用あり
生育期	うどんこ病	ラミック顆粒水和剤 ※4	M7・50	1000倍	散布	前日	● 3回	褐斑病にも適用あり
		パンチョTF顆粒水和剤	U6・3	2000倍			● 2回	
		ドキリンフロアブル	M1	1000倍			○ 5回	炭疽病・べと病にも適用あり
生育期	斑点細菌病	カスミンボルドー	24・M1	1000倍	散布	前日	● 5回	うどんこ病・べと病にも適用あり
		クプロシールド	M1	1000倍			● —	べと病にも適用あり
		ケンジャフロアブル	7	1500倍			○ 4回	うどんこ病・菌核病・つる枯病にも適用あり
生育期	褐斑病	カンタスドライフロアブル	7	1500倍	散布	前日	● 3回	菌核病にも適用あり 展着剤を加用しない。
		炭疽病	ミギワ10フロアブル	52			1000倍	○ 3回
	褐斑病・炭疽病	オーソサイド水和剤80	M4	600倍			○ 5回	べと病・つる枯病にも適用あり 育苗期に使用した場合、使用回数は4回まで
		ダイアメリットDF ※4	M7・19	1000倍			● 2回	うどんこ病・菌核病にも適用あり
		ゲッター水和剤 ★ ※1	10・1	1500倍			● 5回	菌核病にも適用あり
生育期	アブラムシ類	アグロスリン乳剤(劇)	3A	2000倍	散布	前日	— 5回	
		ダントツ水溶剤	4A	2000倍			— 3回	カメムシ類の適用あり
		トランスフォームフロアブル	4C	2000倍			— 2回	
		コルト顆粒水和剤	9B	4000倍			— 3回	
		ウララDF	29	2000倍			— 3回	
		スターマイトフロアブル	25A	2000倍			— 1回	
生育期	ハダニ類	カネマイトフロアブル	20B	1000倍	散布	前日	— 1回	
		コロマイト乳剤	6	1000倍			— 2回	ハモグリバエ類にも適用あり
		アグリメック(劇)	6	1000倍			— 2回	アザミウマ類にも適用あり
		ミカンキイロアザミウマ	コテツフロアブル(劇)	13			2000倍	— 3回
生育期	アザミウマ類・ウリノメイガ	ハチハチ乳剤(劇)	IRAC:21A FRAC:39	1000倍	散布	前日	— 2回	アブラムシ類・うどんこ病・褐斑病・べと病にも適用あり
		グレーシア乳剤	30	2000倍			— 2回	ハモグリバエ類・ハスモンヨトウ・ハダニ類にも適用あり
		ディアナSC	5	2500倍			— 2回	ハモグリバエ類にも適用あり
		プレオフロアブル	UN	1000倍			— 2回	ハモグリバエ類にも適用あり
生育期	ウリノメイガ・ハモグリバエ類	ベネビアOD	28	2000倍	散布	前日	— 3回	アザミウマ類・アブラムシ類・ウリハムシにも適用あり ●単用散布する。
		プレバゾンフロアブル5	28	2000倍			— 3回	

(○予防効果が期待できる。 ●予防・治療効果が期待できる。)

★栽培期間をとおして、トップジンM剤(ゲッター水和剤、トップジンM水和剤、トップジンMペースト等)とベンレート剤(ニマイパー水和剤、ベンレート水和剤等)はいずれか一方のみの使用とする。但し、塗布処理は除く。

- ※1 トップジンMペースト、ゲッター水和剤は同一成分(チオファネートメチル)を含むため、総使用回数は5回以内とする。
- ※2 ダコニール1000、ドーシャスフロアブル、カーニバル水和剤、プロポーズ顆粒水和剤は同一成分(TPN)を含むため、総使用回数12回以内とする
- ※3 プロポーズ顆粒水和剤、ジャストフィットフロアブルは同一成分(ベンチアパリアルイソプロピル)を含むため、総使用回数は3回以内とする
- ※4 ファンベル顆粒水和剤、ラミック顆粒水和剤、ダイアメリットDFは同一成分(イミノクダジン)を含むため、総使用回数は7回以内とする。
- ※5 ダイナモ顆粒水和剤、ホライズンドライフロアブルは同一成分(シモキサニル)を含むため、総使用回数は3回以内とする。
- ※ 使用回数は薬剤の1作期における最高散布回数である。
- ※ 病害虫の発生防止には耕種的・物理的防除を実施する。また発生予察を実施し、適期防除に努める。

展着剤

展着剤名	適用農薬名	使用量	説明
ワイドコート	殺菌剤・殺虫剤	散布液100ℓ当り10mℓ(1万倍)	薬剤をムラなく拡げ落ちづらくする。均一付着により汚れ少ない。少量散布でも農薬本来の効果を引き出す。
アピオン-E	殺菌剤・殺虫剤	散布液100ℓ当り100mℓ	薬剤の被膜層を厚くし付着量を多くし固着性に優れる。雨前散布や保護殺菌剤散布に。
アプローチBI	殺菌剤・殺虫剤	散布液100ℓ当り100mℓ	湿展性・浸透性の効果がある。
スカッシュ	殺菌剤・殺虫剤	散布液100ℓ当り100mℓ	植物表面に広がり、均一に付着させるので、果実や葉の汚れが少なくなる。

除草剤

薬剤名	RACコード	適用雑草名	使用量(散布液量)	使用方法	使用回数	使用時期
クレマート乳剤	3	一年生雑草	10a当り200~400mℓ(水量100~150ℓ)	全面土壌散布	1回	定植前(雑草発生前)
ザクサ液剤	10	一年生雑草	10a当り300~500mℓ(水量100~150ℓ)	雑草茎葉散布	3回	収穫前日まで(雑草生育期 定植前又は畦間処理)

【令和7年12月10日現在の登録内容に基づいて記載しています。】

令和8年度 ハウスきゅうり 病害虫防除基準

JA山形おきたま きゅうり振興部会

時期	対象病害虫	薬剤名	RACコード	使用方法	使用時期 (収穫まで)	効果	使用回数	注意事項		
定植前	ネコブセンチュウ	ネマキック粒剤	1B	15~20kg/10a 全面土壌混和	定植前	-	1回			
育苗期	苗立枯病	オーソサイド水和剤80	M4	800倍 灌注	は種後から 2~3葉期まで	○	5回	2ℓ/m ²		
育苗期 後半	アブラムシ類	ダントツ粒剤	4A	2g/株 株元処理	育苗期 後半	-	1回	※育苗期の株元処理及び定植時の土壌混和は合計1回以内 購入苗を定植する場合は、育苗期の使用実績を確認すること。		
		ベリマークSC	28	400株あたり25ml 灌注	育苗期後半 ~定植当日	-	1回	≪使用例≫400倍の希釈液を1ポットあたり25ml灌注する。		
定植時	アブラムシ類	ダントツ粒剤	4A	2g/株 植穴処理土壌混和	定植時	-	1回	※育苗期の株元処理及び定植時の土壌混和は合計1回以内 購入苗を定植する場合は、育苗期の使用実績を確認すること。		
		モスピラン粒剤	4A	1g/株 株元散布		-	1回			
生育期	黒星病	ジマンダイセン水和剤 ※4	M3	600倍	散布	前日	○	3回	疫病・褐斑病・炭疽病・つる枯病・斑点細菌病・べと病にも適用あり	
		スコア顆粒水和剤	3	2000倍			●	3回		うどんこ病にも適用あり
	べと病	ダコニール1000 ※2	M5	1000倍	散布	前日	○	12回	うどんこ病・褐斑病・黒星病・炭疽病・灰色かび病にも適用あり	
		ダイナモ顆粒水和剤 ※6	21・27	2000倍			○	3回		
		ランマンフロアブル ※3	21	1000倍			●	4回		
		カーニバル水和剤 ※2	40・M5	1000倍			●	3回		うどんこ病・炭疽病・褐斑病にも適用あり
		プロポーズ顆粒水和剤 ※2	40・M5	1000倍			●	3回		うどんこ病・褐斑病・黒星病にも適用あり
		ホライズンドライフロアブル ※6	27・11	2500倍			●	3回		
	斑点細菌病	クプロシールド	M1	1000倍	散布	発病前~ 発病初期	●	—	べと病にも適用あり	
	褐斑病	ケンジャフロアブル	7	1500倍	散布	前日	○	4回	うどんこ病・菌核病・灰色かび病・つる枯病にも適用あり	
		カンタスドライフロアブル	7	1500倍			●	3回		菌核病・灰色かび病にも適用あり ※薬害防止のため展着剤を加用しない。
	炭疽病	ミギワ10フロアブル	52	1000倍	散布	前日	○	3回	菌核病・つる枯病・灰色かび病にも適用あり	
	褐斑病・炭疽病	ドーシャスフロアブル ※2 ※3	21・M5	1000倍	散布	前日	○	4回	うどんこ病・黒星病・べと病にも適用あり	
		ダイアメリットDF ※1	M7・19	1000倍			●	2回		うどんこ病・菌核病・灰色かび病にも適用あり
		ゲッター水和剤 ★ ※5	10・1	1500倍			●	5回		菌核病・灰色かび病にも適用あり
	うどんこ病	フルピカフロアブル	9	2000倍	散布	前日	○	4回	褐斑病・灰色かび病にも適用あり	
		アフェットフロアブル	7	2000倍			○	3回		菌核病・灰色かび病にも適用あり
		ラミック顆粒水和剤 ※1	M7・50	1000倍			●	3回		褐斑病・灰色かび病にも適用あり
		テーク水和剤 ※4	3・M3	600倍			●	3回		褐斑病・炭疽病・灰色かび病・べと病にも適用あり
		パンチョTF顆粒水和剤	U6・3	2000倍			●	2回		
菌核病 灰色かび病	ファンベル顆粒水和剤 ※1	M7・11	1000倍	散布	前日	●	3回	うどんこ病・褐斑病・黒星病・炭疽病にも適用あり		
	ピクシオDF	17	2000倍			●	4回			
	ゲッター水和剤 ★ ※5	10・1	1500倍			●	5回		褐斑病・炭疽病にも適用あり	
	スミブレンド水和剤 ※5	10・2	1500倍			●	5回		褐斑病にも適用あり	
ハダニ類	スターマイトフロアブル	25A	2000倍	散布	前日	-	1回			
	カネマイトフロアブル	20B	1000倍			-	1回			
	コロマイト乳剤	6	1000倍			-	2回		コナジラミ類にも適用あり	
	アグリメック(劇)	6	1000倍			-	2回		アザミウマ類・コナジラミ類にも適用あり	
ミカンキイロアザミウマ	コテツフロアブル(劇)	13	2000倍	散布	前日	-	3回	ハダニ類・ウリハムシ・ウリノメイガにも適用あり		
アブラムシ類	アグロスリン乳剤(劇)	3A	2000倍	散布	前日	-	5回	オンシツコナジラミの適用あり		
アブラムシ類 コナジラミ類	チェス顆粒水和剤	9B	5000倍	散布	前日	-	3回			
	コルト顆粒水和剤	9B	4000倍			-	3回			
	ベストガード水溶剤	4A	1000倍			-	3回			
	ウララDF	29	2000倍			-	3回			
アザミウマ類 ウリノメイガ	ハチハチ乳剤(劇)	IRAC:21A FRAC:39	1000倍	散布	前日	-	2回	コナジラミ類・アブラムシ類・うどんこ病・褐斑病・べと病にも適用あり		
	グレーシア乳剤	30	2000倍			-	2回		コナジラミ類・ハモグリバエ類・ハスモンヨトウ・ハダニ類にも適用あり	
	ディアナSC	5	2500倍			-	2回		コナジラミ類・ハモグリバエ類にも適用あり	
	プレオフロアブル	UN	1000倍			-	2回		ハモグリバエ類にも適用あり	
ウリノメイガ	プレバソフフロアブル5	28	2000倍	散布	前日	-	3回	ハモグリバエ類にも適用あり		

(○予防効果が期待できる。 ●予防・治療効果が期待できる。)

★ 栽培期間をとおして、トップジンM剤(ゲッター水和剤、トップジンM水和剤等)とベンレート剤(キャブレート水和剤、ニマイパー水和剤、ベンレート水和剤等)はいずれか一方のみの使用とする。

- ※1 ダイアメリットDF、ラミック顆粒水和剤、ファンベル顆粒水和剤は同一成分(イミノクタジン)を含むため、総使用回数は7回以内とする。
- ※2 ダコニール1000、カーニバル水和剤、プロポーズ顆粒水和剤、ドーシャスフロアブルは同一成分(TPN)を含むため、総使用回数12回以内とする。
- ※3 ランマンフロアブル、ドーシャスフロアブルは同一成分(シアゾファミド)を含むため、総使用回数は4回以内とする。
- ※4 ジマンダイセン水和剤、テーク水和剤は同一成分(マンゼブ)を含むため、総使用回数を3回以内とする。
- ※5 ゲッター水和剤、スミブレンド水和剤は同一成分(ジエトフェンカルブ)を含むため、総使用回数は5回以内とする。
- ※6 ダイナモ顆粒水和剤、ホライズンドライフロアブルは同一成分(シモキサニル)を含むため、総使用回数は3回以内とする。
- ※ 使用回数は薬剤の1作期における最高散布回数である。
- ※ 病害虫の発生防止には耕種的・物理的防除を実施する。また発生予察を実施し、適期防除に努める。

展着剤

展着剤名	適用農薬名	使用量	説明
ワイドコート	殺菌剤・殺虫剤	散布液100ℓ当り10mℓ(1万倍)	薬剤をムラなく拡げ落ちづらくする。均一付着により汚れ少ない。少量散布でも農薬本来の効果を引き出す
アピオン-E	殺菌剤・殺虫剤	散布液100ℓ当り100mℓ	薬剤の被膜層を厚くし付着量を多くし固着性に優れる。
アプローチBI	殺菌剤・殺虫剤	散布液100ℓ当り100mℓ	湿展性・浸透性の効果がある。
スカッシュ	殺菌剤・殺虫剤	散布液100ℓ当り100mℓ	植物表面に広がり、均一に付着させるので果実や葉の汚れが少なくなる。

除草剤

薬剤名	RACコード	適用雑草名	使用量(散布液量)	使用方法	使用回数	使用時期
クレマート乳剤	3	一年生雑草	10a当り200~400mℓ(水量100~150ℓ)	全面土壌散布	1回	定植前(雑草発生前)
ザクサ液剤	10	一年生雑草	10a当り300~500mℓ(水量100~150ℓ)	雑草茎葉散布	3回	収穫前日まで(雑草生育期:定植前又は畦間処理)

【令和7年12月10日現在の登録内容に基づいて記載しています。】

令和8年度 ハウス大玉トマト 病害虫防除基準

JA山形おきたま トマト振興部会

時期	対象病害虫	薬剤名	RACコード	使用方法	使用時期 (収穫まで)	効果	使用回数	注意事項	
育苗期	苗立枯病	オーソサイド水和剤80	M4	800倍 灌注	は種後から 2~3葉期まで	○	5回	2ℓ/㎡	
	アザミウマ類	※ 生育期の防除薬剤欄をご参照下さい。							黄化えそ病等 ウイルス病対策として実施する。
育苗期 後半	アザミウマ類 アブラムシ類 コナジラミ類 ハモグリバエ類 トマトキバガ	ベリマークSC	28	400株あたり 25ml灌注	育苗期後半 ~定植当日	-	1回	≪使用例≫ 400倍の希釈液を1ポットあたり25ml灌注する。	
定植前	土壌線虫	※ 9ページ『土壌線虫』防除欄をご参照下さい。							
定植時	アブラムシ類 アザミウマ類	ダントツ粒剤	4A	2g/株 植穴処理土壌混和	定植時	-	1回	育苗期に使用した場合は定植時には使用しない。 マルハナバチ利用の場合は使用しない。	
生育期	疫病	ランマンフロアブル	21	1000倍	散布	前日	●	4回	
		ザンプロDMフロアブル	45・40	1500倍			●	3回	
	葉かび病 すすかび病	ダコニール1000 ※1	M5	1000倍	散布	前日	○	4回	うどんこ病・疫病・灰色かび病・輪紋病・炭疽病・褐色輪紋病・ 斑点病にも適用あり
		カナメフロアブル(劇)	7	4000倍			○	4回	うどんこ病・灰色かび病・斑点病・白絹病・褐色輪紋病にも適用あり
		アフェットフロアブル	7	2000倍			○	3回	うどんこ病・灰色かび病にも適用あり
		アミスターオブティフロアブル ※1	11・M5	1000倍			●	4回	疫病・灰色かび病・斑点病・炭疽病にも適用あり
		ブリザード水和剤 ※1	27・M5	1200倍			●	3回	疫病にも適用あり
		シグナムWDG	11・7	2000倍			●	2回	うどんこ病・灰色かび病にも適用あり
	うどんこ病	ベルコートフロアブル ※3	M7	2000倍	散布	前日	○	3回	すすかび病・灰色かび病・葉かび病にも適用あり
		ファンベル顆粒水和剤 ※2 ※3	11・M7	1000倍			●	3回	灰色かび病・葉かび病・すすかび病にも適用あり
		パンチョTF顆粒水和剤	U6・3	2000倍			●	2回	
	灰色かび病	フルピカフロアブル	9	2000倍	散布	前日	○	4回	
		ピクシオDF	17	2000倍			●	4回	
		ファンタジスタ顆粒水和剤 ※2	11	2000倍			●	3回	すすかび病・葉かび病・斑点病にも適用あり
		ゲッター水和剤 ★	1・10	1000倍			●	5回	葉かび病にも適用あり
	オオタバコガ トマトサビダニ ミカンキイロアザミウマ	アニキ乳剤	6	2000倍	散布	前日	-	3回	コナジラミ類・ハスモンヨトウ・ハモグリバエ類・トマトキバガ (1000倍)にも適用あり
		コテツフロアブル(劇)	13	2000倍			-	3回	ナミハダニ・トマトキバガにも適用あり
	オオタバコガ トマトキバガ	フェニックス顆粒水和剤	28	2000倍	散布	前日	-	2回	ハスモンヨトウにも適用あり
		グレーシア乳剤	30	2000倍			-	2回	コナジラミ類・トマトサビダニ・アザミウマ類・ハモグリバエ類・ ハスモンヨトウにも適用あり
	アザミウマ類	スピノエース顆粒水和剤	5	5000倍	散布	前日	-	2回	オオタバコガ・ハモグリバエ類にも適用あり
マッチ乳剤		15	2000倍	-			4回	コナジラミ類にも適用あり ハスモンヨトウ(3000倍)・ハモグリ バエ類(1000倍)にも適用あり	
アブラムシ類 コナジラミ類	トランスフォームフロアブル	4C	2000倍	散布	前日	-	2回	トマトサビダニにも適用あり	
	ウララDF	29	2000倍			-	3回	ミカンキイロアザミウマにも適用あり	
	コルト顆粒水和剤	9B	4000倍			-	3回		
	チェス顆粒水和剤	9B	5000倍			-	3回		
着果促進 果実の肥大促進 熟期の促進	トマトーン	-	20℃以上 100倍 20℃以下 50倍 散布	1花房で3~5花位 開花した時期 1花房あたり1回					
空洞果防止	ジベレリン液剤、粉末	-	10ppm 1花房あたり5ml	開花時花房散布 (1花房あたり1回)			トマトーンと併用する ※「ジベレリン錠剤」は登録が無いので、使用しないこと。		

(○予防効果が期待できる。 ●予防・治療効果が期待できる。)

★栽培期間をとおして、トップジンM剤(ゲッター水和剤、トップジンM水和剤、トップジンMゾル等)とベンレート剤(キャプレート水和剤、ニマイパー水和剤、ベンレート水和剤等)はいずれか一方のみの使用とする。

- ※1 ダコニール1000、アミスターオブティフロアブル、ブリザード水和剤は同一成分(TPN)を含むため、総使用回数は4回以内とする。
- ※2 ファンベル顆粒水和剤、ファンタジスタ顆粒水和剤は同一成分(ピリベンカルブ)を含むため、総使用回数は3回以内とする。
- ※3 ファンベル顆粒水和剤、ベルコートフロアブルは同一成分(イミノクタジン)を含むため、総使用回数は3回以内とする。
- ※ マルハナバチを使用する場合は、農薬散布後の安全日数クリアを確認してからハウス内に放し飼いを。
- ※ 使用回数は薬剤の1作期における最高散布回数である。
- ※ 病害虫の発生防止には耕種的・物理的防除を実施する。また発生を予察して、適期防除に努める。

展着剤

展着剤名	適用農薬名	使用量	説明
スカッシュ	殺菌剤・殺虫剤	散布液100ℓ当り100ml	植物表面に広がり、均一に付着させるので、果実や葉の汚れが少なくなる。

除草剤

薬剤名	RACコード	適用雑草名	使用量(散布液量)	使用方法	使用回数	使用時期
ザクサ液剤	10	一年生雑草	10a当り300~500ml (水量100~150ℓ)	雑草茎葉散布	3回	収穫前日まで(雑草生育期定植前又は畦間処理)

【令和7年12月10日現在の登録内容に基づいて記載しています。】

令和8年度 ミニトマト 病害虫防除基準

JA山形おきたま トマト振興部会

時期	対象病害虫	薬剤名	RACコード	使用方法	使用時期 (収穫まで)	効果	使用回数	注意事項		
育苗期	苗立枯病(リゾクニア菌)	バンタック水和剤75	7	1000倍 3ℓ/㎡土壌灌注	は種時~ 子葉展開時	○	1回			
	アザミウマ類	※ 生育期の防除薬剤欄をご参照下さい。								
育苗期 後半	アザミウマ類 アブラムシ類 コナジラミ類 ハモグリバエ類 トマトキバガ	ベリマークSC	28	400株あたり 25ml灌注	育苗期後半 ~定植当日	-	1回	《使用例》 400倍の希釈液を1ポットあたり25ml灌注する。		
定植前	土壌線虫	※ 9ページ『土壌線虫』防除欄をご参照下さい。								
定植時	アブラムシ類 コナジラミ類	ダントツ粒剤	4A	2g/株 植穴処理土壌混和	定植時	-	1回	育苗期に使用した場合は定植時には使用しない。 マルハナバチ利用の場合は使用しない。		
		モスピラン粒剤	4A	1g/株 植穴土壌混和		-	1回			
生育期	疫病	ホライズンドライフロアブル	27・11	1500倍	散布	前日	● 3回	葉かび病(2500倍)にも適用あり		
		ランマンフロアブル	21	1000倍			● 4回			
	葉かび病 すすかび病	ベルコートフロアブル	M7	4000倍	散布	前日	○ 2回	うどんこ病・灰色かび病・斑点病にも適用あり		
		ダコニール1000 ※3	M5	1000倍			○ 2回		疫病・うどんこ病・灰色かび病・斑点病にも適用あり	
		アミスターオブティフロアブル ※3	11・M5	1000倍			● 2回			
		トリフミン水和剤 ※1	3	3000倍			● 5回			
		シグナムWDG ※2	11・7	2000倍			● 2回			うどんこ病・灰色かび病にも適用あり
		ファンタジスタ顆粒水和剤	11	3000倍			● 3回			
	うどんこ病	パンチョTF顆粒水和剤 ※1	U6・3	2000倍	● 2回					
	灰色かび病	アフエットフロアブル	7	2000倍	散布	前日	○ 3回	うどんこ病・葉かび病・すすかび病・斑点病にも適用あり		
		フルピカフロアブル	9	2000倍			○ 4回			
		カンタスドライフロアブル ※2	7	1500倍			○ 3回		葉かび病にも適用あり 薬害防止のため展着剤を加用しない	
		ピクシオDF	17	2000倍			● 4回			
	斑点病	ロブラール水和剤	2	1000倍	散布	前日	● 3回	灰色かび病にも適用あり		
	オオタバコガ トマトサビダニ ミカンキイロアザミウマ	アニキ乳剤	6	2000倍	散布	前日	- 3回	コナジラミ類・ハスモンヨトウ・ハモグリバエ類・トマトキバガ(1000倍)にも適用あり		
		コテツフロアブル(劇)	13	2000倍			- 3回		ナミハダニ・トマトキバガにも適用あり	
	オオタバコガ トマトキバガ	フェニックス顆粒水和剤	28	2000倍	散布	前日	- 2回	ハスモンヨトウにも適用あり		
		グレーシア乳剤	30	2000倍			- 2回		コナジラミ類・トマトサビダニ・アザミウマ類・ハモグリバエ類 ハスモンヨトウにも適用あり	
ディアナSC		5	2500倍	- 2回			コナジラミ類・アザミウマ類・ハモグリバエ類・ハスモンヨトウにも適用あり			
アザミウマ類	スピノエース顆粒水和剤	5	5000倍	散布	前日	- 2回	オオタバコガ・ハモグリバエ類にも適用あり			
	マッチ乳剤	15	2000倍			- 2回		コナジラミ類にも適用あり ハスモンヨトウ(3000倍)にも適用あり		
	ファインセーブフロアブル(劇)	34	1000倍			- 3回			トマトサビダニにも適用あり	
アブラムシ類 コナジラミ類	ダントツ水溶剤	4A	2000倍	散布	前日	- 3回	ハモグリバエ類にも適用あり			
	トランスフォームフロアブル	4C	2000倍			- 2回		トマトサビダニにも適用あり		
	チェス顆粒水和剤	9B	5000倍			- 3回				
	ウララDF	29	2000倍			- 3回		ミカンキイロアザミウマにも適用あり		
着果促進 果実の肥大促進 熟期の促進	トマトーン	-	20℃以上 100倍 20℃以下 50倍 散布	開花前3日~ 開花後3日位 1花につき1回						

(○予防効果が期待できる。 ●予防・治療効果が期待できる。)

- ※1 トリフミン水和剤、パンチョTF顆粒水和剤は同一成分(トリフルミゾール)を含むため、総使用回数は5回以内とする。
- ※2 シグナムWDG、カンタスドライフロアブルは同一成分(ポスカリド)を含むため、総使用回数は3回以内とする。
- ※3 ダコニール1000、アミスターオブティフロアブルは同一成分(TPN)を含むため、総使用回数は2回以内とする。
- ※ 使用回数は薬剤の1作期における最高散布回数である。
- ※ 病害虫の発生防止には耕種的・物理的防除を実施する。また、発生予察を実施し適期防除に努める。

展着剤

展着剤名	適用農薬名	使用量	説明
スカッシュ	殺菌剤・殺虫剤	散布液100ℓ当り100ml	植物表面に広がり、均一に付着させるので、果実や葉の汚れが少なくなる。

除草剤

薬剤名	RACコード	適用雑草名	使用量(散布液量)	使用方法	使用回数	使用時期
ザクサ液剤	10	一年生雑草	10a当り300~500ml (水量100~150ℓ)	雑草茎葉散布	3回	収穫前日まで(雑草生育期定植前又は畦間処理)

【令和7年12月10日現在の登録内容に基づいて記載しています。】

令和8年度 ハウスメロン 病害虫防除基準

JA山形おきたま メロン振興部会

時期	対象病害虫	薬剤名	RACコード	使用方法	使用時期 (収穫まで)	効果 回数	使用 回数	注意事項	
床土準備	苗立枯病・黒点根腐病・つる割病 センチュウ類・ネキリムシ類・一年生 雑草	クロールピクリン (劇)	8B	1穴当り3~5ml 土壌くん煙	播種前 床土1回	○	1回	30cmに積上げた床土の表面をならし、30cm角毎に深さ15cm位の穴をあけ、所定量の薬剤を注入(錠剤は1錠ずつ内包装のまま施用)後、穴をふさぎ、更に30cmの高さに床土を積み、これを繰り返して最後にポリエチレン、ビニール等で覆いをしておく。地温10℃以上で行う。 なお、薬剤の処理前後10日以内には石灰を施用しない。砕土をていねいに行ってから処理する。被覆を取り除いて5~7日後に土を切り返してガス抜きを行う。臭いの有無を確認して、ガスが抜けたことを確認する。	
ハウス準備	つる割病・苗立枯病(リゾトニア菌)・黒点 根腐病・半身萎凋病・一年生雑草	ガスタード微粒剤 (劇)	8F	20~30kg/10a 土壌混和	定植 21日前	○	1回	土壌消毒は土壌を耕起整地した後、本剤の所定量を均一に散布して深さ15~25cmに土壌と十分混和し、7~14日間ビニール等で被覆する。2回以上耕起し、ガス抜きを行う。散布後21日以上経ってから作付けする。	
	ネコブセンチュウ	ネマトリンエース粒剤	1B	20kg/10a 全面土壌混和	定植前	-	1回		
育苗期	斑点細菌病 炭疽病 べと病	ジマンダイセン水和剤 ※2	M3	600倍	散布	7日前	○	5回	
	アブラムシ類	マラソン乳剤	1B	2000倍	散布	前日	-	3回	ハダニ類、ウリハムシ(1000倍)にも適用あり。
定植時	アブラムシ類 コナジラミ類	ベストガード粒剤	4A	2g/株 植穴処理土壌混和	定植時	-	1回	※処理の際、規定薬量をきちんと計量し処理する。	
活着後	うどんこ病 べと病	ダコニール1000 ※1	M5	700倍	散布	3日前	○	5回	「ダコニール1000」は連用すると茎葉が硬化するため注意する。
	つる枯病 菌核病	ロブラール水和剤	2	1000倍		前日	○	4回	
	アブラムシ類 ハダニ類	モベントフロアブル	23	2000倍		前日	-	3回	
生育前期 (交配前)	うどんこ病	フルピカフロアブル	9	3000倍	散布	前日	○	4回	
	アブラムシ類 コナジラミ類	ウララDF	29	2000倍			-	2回	訪花昆虫に対する安全性高い。
	ハダニ類	ダニサラバフロアブル	25A	1000倍			-	2回	
	ウリノメイガ	アフーム乳剤	6	2000倍			-	2回	※発生時に単用散布する。
	ハダニ類	コロマイト乳剤	6	1000倍			-	2回	※発生時に単用散布する。※ミツバチ導入3日前まで
生育後期 (交配後)	うどんこ病 つる枯病 べと病	テーク水和剤 ※2 ※4	3・M3	600倍	散布	7日前	●	5回	
	斑点細菌病 つる枯病 炭疽病 べと病	ジマンダイセン水和剤 ※2	M3	600倍		7日前	○	5回	
	うどんこ病 陥没病	トリフミン水和剤 ※3 ※4	3	3000倍		前日	●	5回	
	アブラムシ類 コナジラミ類	ダントツ水溶剤	4A	4000倍		前日	-	3回	
	アブラムシ類 コナジラミ類	コルト顆粒水和剤	9B	4000倍		前日	-	3回	
ネット発生 盛期	うどんこ病	ケンジャフロアブル	7	1500倍	散布	前日	○	3回	つる枯病にも適用あり
	うどんこ病	カリグリーン	NC	800倍			●	—	
	うどんこ病	パンチョTF顆粒水和剤 ※3 ※4	U6・3	2000倍			●	2回	※幼苗期に使用しない。(濃緑化症状及び生育抑制を生じる場合がある。)
	ウリノメイガ	グレーシア乳剤	30	2000倍			-	2回	コナジラミ類、ハダニ類にも適用あり ※発生時に単用散布する。
ネット発生 後期	つる枯病 べと病	プロポーズ顆粒水和剤 ※1	40・M5	1000倍	散布	3日前	●	5回	
	コナジラミ類 アザミウマ類	スタークル顆粒水溶剤	4A	2000倍		3日前	-	2回	
	ハダニ類	マイトコーネフロアブル	20D	1000倍		前日	-	1回	※発生時に単用散布する。
成熟期	アブラムシ類 ウリノメイガ	オリオン水和剤40 (劇)	1A	1000倍	散布	前日	-	5回	
	ウリノメイガ	アフーム乳剤	6	2000倍			-	2回	※発生時に単用散布する。
収穫前	※収穫日が予定より早い場合を想定し、余裕をもって薬剤散布を打ち切る。								

(○予防効果が期待できる。 ●予防・治療効果が期待できる。)

- ※1 ダコニール1000、プロポーズ顆粒水和剤は同一成分(TPN)を含むため、総使用回数は5回以内とする。
- ※2 ジマンダイセン水和剤、テーク水和剤は同一成分(マンゼブ)を含むため、総使用回数は5回以内とする。
- ※3 トリフミン水和剤、パンチョTF顆粒水和剤は同一成分(トリフルミゾール)を含むため、総使用回数は2回以内とする。
- ※4 テーク水和剤、トリフミン水和剤、パンチョTF顆粒水和剤は同一系統(RACコード:3(EBI剤))であり、耐性菌出現防止のため総使用回数は2回以内とする。
- ※ 使用回数は薬剤の1作期における最高散布回数である。
- ※ 病害虫の発生防止には耕種的・物理的防除を実施する。また、発生予察を実施し適期防除に努める。
- ※ 抵抗性品種(えそ斑点病対策)の導入を図る。また、発病株は早期に抜き取り適切に処分する。

展着剤

展着剤名	適用農薬名	使用量	説明
アピオン-E	殺菌剤・殺虫剤	散布液100ℓ当り100mℓ	薬剤の被膜層を厚くし付着量を多くし固着性に優れる。保護殺菌剤・予防剤加用で効果。
アプローチBI	殺菌剤・殺虫剤	散布液100ℓ当り100mℓ	湿展性・浸透性があり加用する農薬の葉害が少ない。治療型殺菌剤への加用効果大。
スカッシュ	殺菌剤・殺虫剤	散布液100ℓ当り100mℓ	植物表面に広がり、均一に付着させるので果実や葉の汚れが少なくなる。

除草剤

薬剤名	適用雑草名	RACコード	使用量(散布液量)	使用方法	使用時期	使用回数	注意事項
クレマート乳剤	一年生雑草	3	10a当り200~400mℓ (水量100~150ℓ)	全面土壌散布	定植・マルチ前 (雑草発生前)	1回	多年生雑草・キク科・ツユクサには効果が劣る。
ザクサ液剤	一年生雑草	10	10a当り300~500mℓ (水量100~150ℓ)	雑草茎葉散布	収穫30日前まで (雑草生育期:定植前又は畦間処理)	2回	散布液が作物へ飛散しないように注意する。

【令和7年12月10日現在の登録内容に基づいて記載しています。】

令和8年度 ねぎ 病害虫防除基準

JA山形おきたま ねぎ振興部会

時期	対象病害虫	薬剤名	RACコード	使用方法	使用時期 (収穫まで)	効果 使用回数	注意事項	
育苗期 ～生育期	べと病・黒斑病	ダコニール1000 ※1	M5	1000倍 散布	14日前	○ 3回		
育苗期後半 ～定植当日	ネギアザミウマ ネギハモグリバエ	ジュリポフロアブル	28・4A	200倍 灌注	育苗期後半 ～定植当日	－ 1回	セル成型育苗トレイ1箱またはペーパーポット1冊 (30×60cm・使用土壌約1.5～4.0L)当り0.5L タネバエ・ネギリムシ類・ネダニ類にも適用あり 茎葉・根に薬剤が直接触れないように注意する。	
定植前日 ～定植時	アザミウマ類 ハモグリバエ類 タネバエ・ネギコガ	スタークル顆粒水溶剤	4A	50倍 灌注	定植前日 ～定植時	－ 1回	セル成型育苗トレイ1箱またはペーパーポット1冊 (30×60cm・使用土壌約1.5～4.0L)当り0.5L	
定植時	ネギアザミウマ ネギハモグリバエ	ベストガード粒剤	4A	6kg/10a 植溝処理土壌混和	定植時	－ 1回	茎葉・根に薬剤が直接触れないように注意する。	
	ネキリムシ類	カルホス微粒剤F(劇)	1B	6kg/10a 土壌表面散布土壌混和処理	植付時	－ 1回		
生育期	軟腐病	オリゼメート粒剤	P2	6kg/10a 株元散布	土寄せ時 30日前	○ 2回		
		カセット水和剤 ※2 ※3	31・24	1000倍	14日前	● 2回		
		カスミンボルドー ※3	24・M1	1000倍		● 2回		
		スターナ水和剤 ※2	31	2000倍	7日前	○ 3回		
		バリダシン液剤5	U18	500倍	前日	○ 2回	白絹病(株元散布)にも適用あり	
		クプロシールド	M1	1000倍	発芽前～発病初期	○ 1回	べと病にも適用あり	
	べと病	ジマンダイセン水和剤 ※4	M3	600倍	散布	14日前	○ 3回	黒斑病・さび病にも適用あり
		プロポーズ顆粒水和剤 ※1	40・M5	1000倍		14日前	● 3回	葉枯病にも適用あり
		ザンプロDMフロアブル	45・40	1500倍		14日前	● 3回	
		ダイナモ顆粒水和剤	21・27	2000倍		3日前	○ 4回	
	黒斑病	ロブラール水和剤	2	1000倍	散布	14日前	● 3回	小菌核腐敗病にも適用あり
	さび病	テーク水和剤 ※4	3・M3	600倍	散布	14日前	○ 3回	べと病・黒斑病・葉枯病にも適用あり
		オンリーワンフロアブル	3	1000倍		14日前	● 3回	黒斑病にも適用あり
		アフエットフロアブル	7	2000倍		前日	○ 2回	黒斑病・小菌核腐敗病・小菌核病・白絹病・葉枯病にも適用あり
		サブロール乳剤	3	1000倍		前日	● 5回	
	べと病・さび病・黒斑病・葉枯病	アミスター20フロアブル	11	2000倍	散布	3日前	● 4回	●発生時に使用する。 アミスター20フロアブル、ユニフォーム粒剤は耐 性菌出現防止のため運用は避ける。
	白絹病	ユニフォーム粒剤	11・4	9kg/10a	株元土壌混和	土寄せ時 45日前	○ 1回	べと病・さび病・黒斑病・葉枯病にも適用あり
	アザミウマ類	ファインセーブフロアブル(劇)	34	2000倍	散布	3日前	－ 2回	ネギハモグリバエにも適用あり
ブリロッソ粒剤オメガ ※5		28	6kg/10a	株元散布	前日	－ 3回	ハモグリバエ類にも適用あり	
ネギハモグリバエ ネギアザミウマ	ダントツ粒剤	4A	6kg/10a	株元散布	3日前	－ 4回	ネダニ類にも適用あり	
	コルト顆粒水和剤	9B	2000倍	散布	3日前	－ 3回	アブラムシ類にも適用あり	
アブラムシ類	アグロスリン乳剤(劇)	3A	2000倍	散布	7日前	－ 5回	アザミウマ類・ネギハモグリバエ・ネギコガにも適用あり シロイチモジヨトウ(1000倍)にも適用あり	
シロイチモジヨトウ	プレオフロアブル	UN	1000倍	散布	3日前	－ 4回	ネギアザミウマにも適用あり	
	アニキ乳剤	6	1000倍			－ 3回	ネギアザミウマ・ネギコガ・ハモグリバエ類にも適用あり	
	ディアナSC	5	2500倍		前日	－ 2回	アザミウマ類・ネギハモグリバエ・ネギコガにも適用あり	
	プロフレアSC	30	2000倍		前日	－ 3回	ネギコガ・ネギハモグリバエにも適用あり	
アザミウマ類 ハモグリバエ類 シロイチモジヨトウ	グレーシア乳剤	30	2000倍	散布	7日前	－ 2回	ネギコガにも適用あり	
	ベネビアOD ※5	28	2000倍		前日	－ 3回		
ネダニ類	トクチオン乳剤	1B	2000倍	株元灌注	7日前	－ 3回	希釈液を1㎡当たり3ℓ株元灌注する。	

(○予防効果が期待できる。 ●予防・治療効果が期待できる。)

- ※1 ダコニール1000、プロポーズ顆粒水和剤は同一成分(TPN)を含むため、総使用回数は3回以内とする。
- ※2 スターナ水和剤、カセット水和剤は同一成分(オキシリニック酸)を含むため、総使用回数は3回以内とする。
- ※3 カセット水和剤、カスミンボルドーは同一成分(カスガマイシン)を含むため、総使用回数は2回以内とする。
- ※4 ジマンダイセン水和剤、テーク水和剤は同一成分(マンゼブ)を含むため、総使用回数は3回以内とする。
- ※5 ブリロッソ粒剤オメガ、ベネビアODは同一成分(シアントラニリプロール)を含むため、総使用回数は3回以内とする。
- ※ 使用回数は薬剤の1作期における最高散布回数です。
- ※ 病害虫の発生防止には耕種的・物理的防除を行います。また発生を予測して、適期防除に努めましょう。

展着剤

展着剤名	適用農薬名	使用量	説明
ワイドコート	殺菌剤・殺虫剤	散布液100ℓ当り33mℓ	薬剤をムラなく拡げ落ちづらくする。均一付着により汚れ少ない。少量散布でも農薬本来の効果を引き出す。
アピオン-E	殺菌剤・殺虫剤	散布液100ℓ当り100mℓ	薬剤の被膜層を厚くし固着性に優れ、雨前散布や保護剤散布に。
アプローチBI	殺菌剤・殺虫剤	散布液100ℓ当り100mℓ	湿展性・浸透性に優れ、治療効果がある殺菌剤や殺虫剤散布に。
ミックスパワー	殺菌剤・殺虫剤	散布液100ℓ当り33mℓ	湿展性・浸透性に優れ、均一付着により汚れ少ない。殺菌剤の降雨間散布に。 ※使用回数3000倍を守る。

除草剤

時期	薬剤名	適用雑草名	RACコード	使用量(散布液量)	使用方法	使用時期	使用回数	注意事項
定植前	ラウンドアップマックスロード	一年生雑草	9	10a当り200～500mℓ (水量50～100ℓ)	雑草茎葉散布	耕起前又は定植5日前まで (雑草生育期)	3回	少量散布の散布液量(5～50ℓ)/10a
定植後	ゴーゴーサン細粒剤F	一年生雑草	3	4～6kg/10a	全面土壌散布	定植後(雑草発生前) 但し、定植10日後まで	1回	ツクサ、キク科には効果が劣る。 同一成分のためどちらか1回のみ使用のこと。
	ゴーゴーサン乳剤	一年生雑草	3	10a当り200～300mℓ (水量70～100ℓ)				
生育期	ザクサ液剤	一年生雑草	10	10a当り300～500mℓ (水量100～150ℓ)	雑草茎葉散布	収穫前日まで (雑草生育期 定植前又は畦間処理)	2回	作物に飛散しないように注意をする。
	ロロックス	一年生雑草	5	10a当り100～150g (水量70～150ℓ)	畦間土壌散布	定植後(雑草発生前) 但し、収穫30日前まで	1回	露地栽培でのみ登録あり。
	ナブ乳剤	一年生イネ科雑草 (スズメノカタビラを除く)	1	10a当り150～200mℓ (水量100ℓ)	雑草茎葉散布 又は全面散布	雑草生育期(イネ科雑草3～5葉期) 但し、収穫30日前まで	1回	

【令和7年12月10日現在の登録内容に基づいて記載しています。】

令和8年度 アスパラガス 病害虫防除基準

JA山形おきたま アスパラガス振興部会

時期	対象病害虫	薬剤名	RACコード	使用方法	使用時期 (収穫まで)	効果 使用回数	注意事項	
生育期	茎枯病	ユニフォーム粒剤 ※2	11・4	12kg/10a 株元散布	前日	● 3回	○茎枯病 病原菌は、被害植物上に形成された柄子殻で越冬し、翌年気温が上昇すると共に胞子を形成し飛散・伝染する。特に収穫後の株養成室に発生し、降雨が多いと多発する。被害茎葉は集めて焼却し、圃場に残留せず処分する。また、罹病茎を刈り取る時は低刈りとする。予防防除の徹底が重要となっており、立茎開始から3～5日間隔で防除を行なう。 ○斑点病 茎や葉に発生し、赤褐色で楕円形の小型病斑が形成され、やがて灰褐色に退色する。病斑が茎や葉を取り囲むとその上部は枯死して落葉する。立茎時期から感染するが、発生が増大するのは8月中旬以降の秋雨時である。 ○褐斑病 病徴は斑点病とほとんど同じで判別が難しい。褐斑病は病徴がすすむと病斑中心部に黒色の粒点が密生する。斑点病と同様に、罹病した落葉は次年度の伝染源となるため、なるべく圃場から除去する。 ※アミスター20フロアブルは薬害の恐れがあるため、高温期の散布を避ける。 ※ラリー水和剤とスコア顆粒水和剤は、耐性菌出現防止のため総使用回数は2回以内とする。 ※クプロシールドはナメクジ(1000倍)にも適用あり。	
	茎枯病 斑点病 褐斑病	ダコニール1000	M5	1000倍	散布	前日		○ 4回
		アフエツフロアブル	7	2000倍				○ 4回
		パレード20フロアブル	7	2000倍				○ 3回
		コサイド3000	M1	2000倍				○ —
		ロブラール水和剤	2	2000倍				○ 5回
		アミスター20フロアブル ※2	11	2000倍				● 4回
	ファンタジスタ顆粒水和剤	11	3000倍	● 3回				
	茎枯病 斑点病	Zボルドー	M1	500倍	散布	発病前～ 発病初期	● —	
	クプロシールド	M1	1000倍	● —				
	斑点病	ラリー水和剤	3	4000倍	散布	前日	● 2回	
		スコア顆粒水和剤	3	2000倍			● 2回	
	軟腐病	スターナ水和剤	31	2000倍	散布	前日	○ 2回	立基本数を適正にし、通風を良くすることが重要。 雨天が続く、穂先にトロケ症状が観察される場合に散布する。
	ネキリムシ類	ガードベイトA ※1	3A	3kg/10a 株元散布		前日	— 3回	
	ジュウシホシク ピナガハムシ	アディオン乳剤 ※1	3A	2000倍	散布	前日	— 3回	アブラムシ類・カメムシ類・ヨトウムシにも適用あり
		スタークル顆粒水溶剤	4A	2000倍			— 3回	アザミウマ類・カメムシ類にも適用あり
		コテツフロアブル(劇)	13	2000倍			— 2回	オオタバコガ・ヨトウムシ・ハスモンヨトウ・ハダニ類にも適用あり
	ハダニ類	コロマイト乳剤	6	1000倍	散布	前日	— 2回	
	ネギアザミウマ	ダントツ水溶剤	4A	2000倍	散布	前日	— 3回	アブラムシ類・カメムシ類・ジュウシホシクピナガハムシにも適用あり
		ウララDF	29	2000倍			— 3回	アブラムシ類にも適用あり
コルト顆粒水和剤		9B	4000倍	— 3回			カスミカメムシ類にも適用あり	
ハチハチフロアブル(劇)		IRAC:21A FRAC:39	1000倍	— 2回			アブラムシ類・ジュウシホシクピナガハムシにも適用あり	
アザミウマ類	グレーシア乳剤	30	2000倍	散布	前日	— 2回	ハスモンヨトウ・ハダニ類・ジュウシホシクピナガハムシにも適用あり	
	ファインセーブフロアブル(劇)	34	2000倍			— 2回		
	リーフガード顆粒水和剤(劇)	14	1500倍			— 2回	ナメクジ類にも適用あり	
	アドマイヤー顆粒水和剤(劇)	4A	5000倍			— 2回		
	ディアナSC	5	2500倍			— 2回	オオタバコガ・ハスモンヨトウ・ジュウシホシクピナガハムシにも適用あり	
ハスモンヨトウ	プレオフロアブル	UN	1000倍	散布	前日	— 2回	ネギアザミウマ・オオタバコガ・ヨトウムシにも適用あり	
	アフアム乳剤	6	2000倍			— 2回	オオタバコガ・ヨトウムシ・ハダニ類にも適用あり	
	フェニックス顆粒水和剤	28	2000倍			— 2回	オオタバコガ・ヨトウムシにも適用あり	
	プレバゾンフロアブル5	28	2000倍			— 3回		
ナメクジ類	スラゴ	未分類	1g～5g/㎡ 株元に配置		発生時	— —	カタツムリ類にも適用あり	
	ナメクリーン3	未分類	1～3kg/10a 株元散布		前日	— 2回		
収穫 終了後	茎枯病	ベルコート水和剤	M7	1000倍	散布	7日前	○ 5回	斑点病・褐斑病にも適用あり
	茎枯病・斑点病	フロンサイドSC ※露地栽培のみ	29	2000倍	散布	収穫終了後 (但し、秋期まで)	○ 5回	
		ICボルドー66D	M1	50倍		収穫終了後	○ —	

(○予防効果が期待できる。●予防・治療効果が期待できる。)

展着剤名	適用農薬名	使用量	説明
ワイドコート	殺菌剤・殺虫剤	散布液100ℓ当り20mℓ	薬剤をムラなく上げ落ちづらくする。均一付着により汚れ少ない。少量散布でも農薬本来の効果を引き出す。
アピオン-E	殺菌剤・殺虫剤	散布液100ℓ当り100mℓ	薬剤の被膜層を厚くし付着量を多くし固着性に優れる。雨前散布、予防剤加用で効果。
アプローチBI	殺菌剤・殺虫剤	散布液100ℓ当り100mℓ	湿展性・浸透性の効果がある。治療型殺菌剤への加用効果大。
スカッシュ	殺菌剤・殺虫剤	散布液100ℓ当り100mℓ	植物表面に広がり、均一に付着させるので、果実や葉の汚れが少なくなる。

時期	適用雑草名	薬剤名	RACコード	使用量(散布液量)	使用時期	使用回数	使用方法/注意事項
萌芽前	一年生雑草 (ツクサ科、カヤツリグサ科、キク科、アブラナ科を除く)	トレファンサイド乳剤	3	10a当り200～300mℓ (水量100ℓ)	萌芽前又は収穫打ち切り後 (雑草発生前)	1回	全面土壌散布
		クレマート乳剤	3	10a当り200～400mℓ (水量100～150ℓ)	萌芽前 (雑草発生前)	1回	全面土壌散布
		ロロック	5	10a当り150～200g (水量70～150ℓ)	萌芽前 (雑草発生前～発生始期)	1回	全面土壌散布
		ゴーゴーサン細粒剤F	3	10a当り4～6kg	萌芽前 (雑草発生前)	1回	全面土壌散布
		センコル水和剤	5	10a当り100～150g (水量100ℓ)	萌芽前～萌芽始期 または収穫打ち切り後 (雑草発生前～4、5葉期)	1回	雑草茎葉散布又は全面土壌散布 ※作物体が地上に見えたら使用できません。
生育期	一年生イネ科雑草 (スズメノカタビラを除く)	ナブ乳剤	1	10a当り150～200mℓ (水量100～150ℓ)	雑草生育期 イネ科雑草3～5葉期 (但し収穫前日まで)	1回	雑草茎葉散布又は全面散布
	一年生雑草	ザクサ液剤	10	10a当り300～500mℓ (水量100～150ℓ)	収穫前日まで 雑草生育期(萌芽前又は畦間処理)	2回	雑草茎葉散布

※1 ガードベイトA、アディオン乳剤は同一成分(ベルメトリン)を含むため、総使用回数は3回以内とする。

※2 ユニフォーム粒剤、アミスター20フロアブルは同一成分(アゾキシストロビン)を含むため、総使用回数は4回以内(粒剤は3回以内)とする。

※ 耐性菌出現防止のため、連用は避ける。

※ 使用回数は薬剤の1作期における最高散布回数である。

※ 病害虫の発生防止には耕種的・物理的防除を実施する。また、発生予察を実施し適期防除に努める。

【令和7年12月10日現在の登録内容に基づいて記載しています。】

令和8年度 食用菊 病害虫防除基準

JA山形おきたま 食用菊振興部会

時期	対象病害虫	薬剤名	RACコード	使用方法	使用時期 (収穫まで)	効果	使用回数	注意事項	
定植時	ネキリムシ類	カルホス微粒剤F(劇)	1B	6kg/10a 土壌表面散布 土壌混和処理	定植時	—	1回		
	アブラムシ類	スタークル粒剤	4A	1g/株 植穴土壌混和 (10a当り30kgまで)	定植時	—	1回	マメハモグリバエにも適用あり 2g/株(但し 10a当り30kgまで)	
生育期	褐斑病	ダコニール1000	M5	1000倍 散布	30日前	○	4回	雨よけを設置し、通風を良くし栽植距離は広くする。窒素過多で発生を助長するので適切な施肥を行う。	
	白さび病	ラリー乳剤	3	3000倍 散布	14日前	●	2回		
		ストロビーフロアブル	11	3000倍 散布	3日前	○	2回	褐斑病・黒斑病にも適用あり	
	うどんこ病	イオウフロアブル	M2	500倍 散布	発病前～発病初期	○	—	高温時の散布は葉害の恐れがあるため注意する。	
	灰色かび病	アフェットフロアブル	7	2000倍 散布	7日前	○	2回	白さび病・うどんこ病にも適用あり	
		セイビアーフロアブル20	12	1000倍 散布	3日前	○	2回		
	アブラムシ類		モスピラン顆粒水溶剤(劇)	4A	2000倍 散布	14日前	—	2回	アザミウマ類にも適用あり
			スタークル顆粒水溶剤	4A	3000倍 散布	7日前	—	2回	
			ウララDF	29	4000倍 散布	7日前	—	2回	
			マラソン乳剤	1B	2000倍 散布	3日前	—	2回	
			トランスフォームフロアブル	4C	2000倍 散布	3日前	—	2回	
			エコピタ液剤	未分類	100倍 散布	前日	—	—	●単用散布する ハダニ類・うどんこ病にも適用あり
	ミカンキイロアザミウマ		カスケード乳剤	15	2000倍 散布	7日前	—	2回	マメハモグリバエにも適用あり
			コテツフロアブル(劇)	13	2000倍 散布	3日前	—	2回	オオタバコガ・ハダニ類・ヨトウムシ類にも適用あり
			スピノエース顆粒水和剤	5	1万倍 散布	3日前	—	2回	
			ベストガード粒剤	4A	2g/株 株元散布	前日	—	2回	アブラムシ類・マメハモグリバエにも適用あり
	アザミウマ類		アフーム乳剤	6	2000倍 散布	14日前	—	1回	
			バイスロイドEW(劇)	3A	3000倍 散布	7日前	—	2回	
		アグロスリン乳剤(劇)	3A	1500倍 散布	3日前	—	1回	アブラムシ類・オオタバコガ・ハスモンヨトウ・ヨトウムシにも適用あり	
		ディアナSC	5	2500倍 散布	前日	—	2回	ハモグリバエ類・オオタバコガにも適用あり	
アザミウマ類 ハダニ類	グレーシア乳剤	30	2000倍 散布	3日前	—	2回	オオタバコガ・ハスモンヨトウにも適用あり		
ハダニ類		スターマイトフロアブル	25A	2000倍 散布	7日前	—	1回		
		ダニサラバフロアブル	25A	1000倍 散布	3日前	—	2回		
		コロマイト水和剤	6	2000倍 散布	前日	—	1回		
		アカリタッチ乳剤	UNE	2000倍 散布	前日	—	—	うどんこ病にも適用あり ※高温時の散布は葉害の恐れがあるため注意。	
ハモグリバエ類	トリガード液剤	17	1000倍 散布	7日前	—	2回			
オオタバコガ	デルフィン顆粒水和剤	11A	1000倍 散布	前日	—	—	発生初期に使用する。		

・ハウス開口部には防虫ネットを設置し、ハウス内と周辺の除草を行い、スポット的に害虫が発生した場合は早期に寄生葉を除去する。
・紫外線カットフィルムを利用する。(ただし紫色品種には使用しない)

土壌消毒剤 (○予防効果が期待できる、●予防・治療効果が期待できる。)

薬剤名	RACコード	対象病害虫	使用量(散布量)	使用時期/使用回数	使用方法
ガスタード微粒剤(劇)	8F	センチュウ類 (ハカレセンチュウを除く) 萎凋病 半身萎凋病 青枯病	30kg/10a	定植21日前まで	1回 土壌を耕起整地した後、所定量の薬剤を均一に散布して深さ15~25cmに土壌と十分混和する。混和後ビニール等で被覆処理する。7~14日後被覆を除去して少なくとも2回以上の耕起によるガス抜きを行う。

除草剤

薬剤名	RACコード	適用雑草名	使用量	使用方法/使用回数	使用時期
ゴーゴーサン乳剤	3	一年生雑草	10a当り200~400ml (水量70~150l)	全面土壌散布	1回 定植前(雑草発生前)
バスタ液剤	10	一年生雑草	10a当り300~500ml (水量100~150l)	雑草茎葉散布	2回 定植前(雑草生育期)、収穫14日前まで(畦間処理:雑草生育期)

※「食用ぎく」と「きく」は農薬登録が異なるので、それぞれの登録内容をしっかりと確認して使用しましょう。
※ 使用回数は親株から挿し穂を採取した時から収穫終了までの回数です。
※ 病害虫の発生防止には耕種的・物理的防除を実施しましょう。また発生予察を実施して、適期防除に努めましょう。
【令和7年12月10日現在の登録内容に基づいて記載しています。】

令和8年度 たちのき 病害虫防除基準

JA山形おきたま 特産野菜振興部会促成山菜部会

時期	対象病害虫	薬剤名	RACコード	使用方法	使用時期 (収穫まで)	効果	使用回数	注意事項
生育期	立枯疫病	ユニフォーム粒剤	11・4	20kg/10a 土壌表面散布	収穫終了後~落葉前 (収穫60日前まで)	○	2回	苗の場合は植え付け後~落葉前 但し、収穫60日前まで。排水不良地に発生するため、圃場の排水をよくする。
	そうか病	ストロビーフロアブル	11	2000倍 散布	75日前	○	2回	※ユニフォーム粒剤とストロビーフロアブルは同一成分とみなし、連用を避ける。総使用回数は2回以内とする。
	センノカミキリ幼虫 ヒメシロコブゾウムシ	スミチオン乳剤	1B	100倍 樹幹散布	3~5月 株養成期	—	2回	
	センノカミキリ	モスピラン顆粒水溶剤(劇)	4A	2000倍 散布	45日前	—	3回	
	ハダニ類	コテツフロアブル(劇)	13	2000倍 散布	90日前	—	2回	
伏込時	萌芽促進	ジベレリン液剤 ジベレリン粉末	— —	50ppm 駒木散布	伏込時	—	1回	使用液量(100~200ml/m ²) ※「ジベレリン錠剤」は登録が無いため、使用しないこと。

(○予防効果が期待できる、●予防・治療効果が期待できる。)

薬剤名	RACコード	適用雑草名	使用量(散布液量)	使用方法/使用回数	使用時期
ロロックス	5	一年生雑草	10a当り100g (水量70~150l)	畦間土壌散布	2回 中耕・培土後(雑草発生前)
バスタ液剤	10	一年生雑草	10a当り300~500ml (水量100~150l)	雑草茎葉散布	3回 収穫45日前まで(雑草生育期:耕起前・植付前又は畝間処理)

※ 使用回数は薬剤の1作期における最高散布回数です。
※ 病害虫の発生防止には耕種的・物理的防除を実施しましょう。また発生予察を実施して適期防除に努めましょう。
※ 「収穫」とは「たちの芽を収穫すること」を指す。

【令和7年12月10日現在の登録内容に基づいて記載しています。】

令和8年度 かぼちゃ 病害虫防除基準

JA山形おきたま 特産野菜振興部会

時期	対象病害虫	薬剤名	RACコード	使用方法	使用時期 (収穫まで)	効果	使用回数	注意事項
播種時又は定植時	ネキリムシ類 ケラ	ダイアジノン粒剤5	1B	6kg/10a 全面土壌混和又は作条 土壌混和	は種時又は 定植時	—	2回	コガネムシ類(幼虫)にも適用あり(収穫21日前まで)
定植時	アブラムシ類	モスピラン粒剤	4A	1g/株 植穴土壌混和	定植時	—	1回	
生育期	疫病・べと病	ジマンダイセン水和剤	M3	600倍	散布	21日前	○ 2回	炭疽病・つる枯病にも適用あり 疫病は、排水不良地で発生が多く なるため排水対策を徹底する。
		アリエッティ水和剤	P7	400倍		前日	● 3回	
	べと病	ダコニール1000	M5	1000倍	散布	7日前	○ 3回	うどんこ病にも適用あり
		Zボルドー	M1	500倍		発芽前～ 発病初期	● —	斑点細菌病・褐斑細菌病・黒腐病・黒斑細菌病・果実斑点細菌病にも適用あり
	アブラムシ類	スミチオン乳剤	1B	1000倍	散布	14日前	— 3回	アザミウマ類にも適用あり
		ウララDF	29	2000倍		7日前	— 2回	
		モスピラン顆粒水溶剤(劇)	4A	2000倍		前日	— 2回	
	ハスモンヨトウ	アグロスリン乳剤(劇)	3A	2000倍	散布	前日	— 5回	アザミウマ類・アブラムシ類にも適用あり
	うどんこ病	ベルコート水和剤	M7	1000倍	散布	7日前	○ 4回	
		パンチョTF顆粒水和剤	U6・3	2000倍		前日	● 2回	
ストロビーフロアブル		11	3000倍	前日		● 3回	べと病にも適用あり	

(○予防効果が期待できる。 ●予防・治療効果が期待できる。)

時期	適用雑草名	薬剤名	RACコード	使用量(散布液量)	使用方法	使用回数	使用時期
耕起前	一年生雑草	ラウンドアップマックスロード	9	10a当り200~500ml(水量50~100l)	雑草茎葉散布	1回	耕起前まで(雑草生育期)
マルチ前	一年生雑草	クレマート乳剤	3	10a当り200~400ml(水量100~150l)	全面土壌散布	1回	定植・マルチ前(雑草発生前)
生育期	一年生雑草	バスタ液剤	10	10a当り300~500ml(水量100~150l)	雑草茎葉散布	2回	収穫30日前まで (雑草生育期・耕起前・定植前又は時間処理)

※使用回数は薬剤の1作期における最高散布回数である。

※病害虫の発生防止には耕種的・物理的防除を実施する。また、発生予察を実施し適期防除に努める。

【令和7年12月10日現在の登録内容に基づいて記載しています。】

令和8年度 なす 病害虫防除基準

JA山形おきたま 特産野菜振興部会

時期	対象病害虫	薬剤名	RACコード	使用方法	使用時期 (収穫まで)	効果	使用回数	注意事項
定植前	半身萎凋病	ガスタード微粒剤(劇)	8F	20~30kg/10a 土壌混和	定植21日前まで	○	1回	土壌を耕起整地した後、所定量の薬剤を均一に散布して深さ15~25cmに土壌と十分混和する。混和後ビニール等で被覆処理する。被覆しない場合は鎮圧散水してガスの蒸散を防ぐ。被覆後7~14日に被覆を除去し、少なくとも2回以上の耕起によるガス抜きを行い、散布後21日以上経ってから作付する。
定植時	ネキリムシ類	カルホス粉剤	1B	6kg/10a 土壌表面散布土壌混和处理	植付時	—	2回	
	アブラムシ類	ダントツ粒剤	4A	1g/株 植穴処理土壌混和	定植時	—	1回	茎葉、根に薬剤が直接ふれないように注意する。
生育期	半身萎凋病	ベンレート水和剤 ★	1	500倍	土壌 かん注	定植後～ 収穫14日前まで	○ 3回	希釈液を株当り200~300ml株元かん注する。
	褐色腐敗病	ホライズンドライフロアブル	27・11	2500倍			散布	前日
		ランマンフロアブル	21	2000倍	前日	○ 4回		
	灰色かび病	ダコニール1000	M5	1000倍	散布	前日	○ 4回	うどんこ病・黒枯病・すすかび病にも適用あり
		ベルコートフロアブル	M7	2000倍			○ 3回	うどんこ病・黒枯病・すすかび病にも適用あり
	うどんこ病	パンチョTF顆粒水和剤	U6・3	2000倍	散布	前日	● 2回	
		アミスター20フロアブル	11	2000倍			● 4回	すすかび病にも適用あり
	ハダニ類 チャノホコリダニ	スターマイトフロアブル	25A	2000倍	散布	前日	— 1回	
		コテツフロアブル(劇)	13	2000倍			— 4回	オオタバコガ・テントウムシダマシ類・ハスモンヨトウ・ミカンキイロアザミウマ・ヨトウムシにも適用あり
		カネマイトフロアブル	20B	1000倍			— 1回	
		コロマイト乳剤	6	1500倍			— 2回	※コロマイト乳剤:水なすには使用しない。(葉害の恐れあり) ハモグリバエ類・コナジラミ類にも適用あり
		アフーム乳剤	6	2000倍			— 2回	アザミウマ類・オオタバコガ・ハスモンヨトウ・ハモグリバエ類・コナジラミ類にも適用あり
	アブラムシ類	ダントツ水溶剤	4A	2000倍	散布	前日	— 3回	コナジラミ類・ハモグリバエ類・カメムシ類にも適用あり
		アグロスリン乳剤(劇)	3A	2000倍			— 5回	オンシツコナジラミにも適用あり
		コルト顆粒水和剤	9B	4000倍			— 3回	カスミカメムシ類・コナジラミ類にも適用あり
アザミウマ類	ディアナSC	5	2500倍	散布	前日	— 2回	コナジラミ類・ハモグリバエ類・オオタバコガ・ハスモンヨトウにも適用あり	
	ファインセーブフロアブル(劇)	34	1000倍			— 3回	タバココナジラミ類にも適用あり	
オオタバコガ	トルネードエースDF	22A	2000倍	散布	前日	— 2回	ハスモンヨトウにも適用あり	
	フェニックス顆粒水和剤	28	2000倍			— 3回	ハスモンヨトウにも適用あり	
コナジラミ類	チェス顆粒水和剤	9B	5000倍	散布	前日	— 3回	アブラムシ類にも適用あり	

(○予防効果が期待できる。 ●予防・治療効果が期待できる。)

展着剤名	適用農薬名	使用量	説明
アプローチBI	殺菌剤・殺虫剤	散布液100l当り100ml	湿展性・浸透性の効果がある。
スカッシュ	殺菌剤・殺虫剤	散布液100l当り100ml	植物表面に広がり、均一に付着させるので、果実や葉の汚れが少なくなる。

時期	適用雑草名	薬剤名	RACコード	使用量(散布液量)	使用方法	使用回数	使用時期
耕起前	一年生雑草	ラウンドアップマックスロード	9	10a当り200~500ml(水量50~100l)	雑草茎葉散布	2回	耕起前まで(雑草生育期)
定植前 マルチ前	一年生雑草	クレマート乳剤	3	10a当り200~400ml(水量100~150l)	全面土壌散布	1回	定植前又は定植・マルチ前(雑草発生前)
生育期	一年生雑草	ザクサ液剤	10	10a当り300~500ml(水量100~150l)	雑草茎葉散布	3回	収穫前日まで(雑草生育期定植前又は時間処理)

★栽培期間をとおして、トップジンM剤(トップジンM水和剤等)とベンレート剤(ベンレート水和剤等)はいずれか一方のみの使用とする。

※使用回数は薬剤の1作期における最高散布回数である。

※病害虫の発生防止には耕種的・物理的防除を実施する。また、発生予察を実施し適期防除に努める。

【令和7年12月10日現在の登録内容に基づいて記載しています。】

令和8年度 キャベツ 病害虫防除基準

JA山形おきたま 特産野菜振興部会キャベツ部会

時期	対象病害虫	薬剤名	RACコード	使用方法	使用時期(収穫迄)	効果	使用回数	注意事項	
育苗期	べと病	ダコニール1000	M5	1000倍 散布	14日前	○	2回		
	アオムシ・コナガ アブラムシ類	アグロスリン水和剤(劇)	3A	1000倍 散布	7日前	—	5回	アザミウマ類・タマナギンウワバ・ヨトウムシにも適用あり	
	アオムシ アブラムシ類・コナガ ネギアザミウマ ハイマダラノメイガ ヨトウムシ	ジュリボフロアブル	28・4A	200倍 灌注	育苗期後半 ～定植当日	—	1回	セル成型育苗トレイ1箱またはペーパーポット1冊 (約30×60cm、使用土壌 約1.5～4L) 当り500ml	
定植前	根こぶ病	オラクル顆粒水和剤	21	500倍 灌注	定植前	○	1回	セル成型育苗トレイ1箱またはペーパーポット1冊 (約30×60cm、使用土壌 約3～4L) 当り500ml	
		オラクル粉剤	21	30kg/10a 全面土壌混和		○	2回	粉剤はいずれか1剤 を選択し使用する	
		ネビジン粉剤	36	30kg/10a 全面土壌混和		○	2回		菌核病にも適用あり
生育期	べと病	ジマンダイセン水和剤 ※1	M3	600倍	30日前	○	3回	べと病は降雨が比較的多く、気温が低くなる秋あるいは春に発生が多い。 育苗期に使用した場合は生育期には1回のみでの使用とする。	
		ダコニール1000	M5	1000倍	14日前	○	2回		
		リドミルゴールドMZ ※1	M3・4	1000倍	30日前	●	3回		
	黒腐病・軟腐病 黒斑細菌病	カスミンボルドー ※2	24・M1	1000倍	散布	7日前	●	4回	結球期以降は葉に葉害を生じることがあるので使用しない。
		カセット水和剤 ※2	31・24	1000倍			●	3回	
	株腐病・黒腐病 軟腐病	バリダシン液剤5	U18	800倍	散布	7日前	●	5回	
	株腐病	モンカットフロアブル40	7	2000倍	散布	7日前	●	4回	株腐病は夏の高温多湿時に収穫する作型で多く発生。 結球開始期から予防散布をする。
		アミスター20フロアブル	11	2000倍			●	4回	
	コナガ・アオムシ アブラムシ類	ダントツ水溶剤	4A	2000倍	散布	3日前	—	2回	
	コナガ アオムシ ヨトウムシ	プレオフロアブル	UN	1000倍	散布	7日前	—	2回	ウワバ類・オオタバコガ・ハイマダラノメイガ・ ハスモンヨトウにも適用あり
		トルネードエースDF	22A	2000倍			—	2回	ウワバ類・ハイマダラノメイガ・ハスモンヨトウ にも適用あり
		トレボン乳剤	3A	1000倍		3日前	—	3回	アブラムシ類にも適用あり
		フィールドマストフロアブル	4E	4000倍		前日	—	2回	ハスモンヨトウ・ハイマダラノメイガ・ウワバ類 にも適用あり
ディアナSC		5	2500倍	—			2回	ウワバ類・オオタバコガ・ハイマダラノメイガ・ ハスモンヨトウにも適用あり	
プロフレアSC		30	2000倍	—			3回	ウワバ類・ハイマダラノメイガ・オオタバコガ・ ハスモンヨトウにも適用あり	
フェニックス顆粒水和剤		28	2000倍	—			3回	ウワバ類・ハイマダラノメイガ・オオタバコガ・ ハスモンヨトウにも適用あり	
プレバソンフロアブル5		28	2000倍	—		3回	ウワバ類・ハイマダラノメイガ・オオタバコガ・ ハスモンヨトウにも適用あり		

(○予防効果が期待できる。 ●予防・治療効果が期待できる。)

- ※1 ジマンダイセン水和剤、リドミルゴールドMZは同一成分(マンゼブ)を含むため、総使用回数は3回以内とする。
- ※2 カスミンボルドー、カセット水和剤は同一成分(カスガマイシン)を含むため、総使用回数は4回以内とする。
- ※使用回数は薬剤の1作期における最高散布回数である。
- ※病害虫の発生防止には耕種的・物理的防除を実施する。また発生予察を実施し、適期防除に努める。

除草剤

時期	対象雑草名	薬剤名	RACコード	使用量	使用方法	使用時期/使用回数	注意事項	
定植前	一年生雑草	クレマート乳剤	3	10a当り200～400mℓ (水量100～150ℓ)	全面土壌散布	定植前 (雑草発生前)	1回	キク科・ツユクサには効果が劣る。
	一年生雑草	ザクサ液剤	10	10a当り300～500mℓ (水量100～150ℓ)	雑草茎葉散布	収穫45日前まで (雑草生育期 定植前 又は畦間処理)	2回	
定植後	一年生雑草	ラッソー乳剤	15	10a当り150～200mℓ (水量100ℓ)	全面土壌散布	定植8日後まで	1回	アカザ科・タデ科などの広葉雑草には 効果が劣る。
	一年生イネ科雑草	ナブ乳剤	1	10a当り150～200mℓ (水量100～150ℓ)	雑草茎葉散布 又は全面散布	雑草生育期 イネ科雑草3～5葉期 (収穫14日前まで)	1回	スズメノカタビラを除く。 広葉雑草およびカヤツリグサ科には効 果がない。

【令和7年12月10日現在の登録内容に基づいて記載しています。】

令和8年度 野菜類に使える主な登録薬剤

JA山形おきたま 野菜振興会

用途	薬剤名	RACコード	対象病害虫等・使用目的	散布時 希釈倍数・使用量	使用時期	使用 回数	注意事項		
殺菌剤	微生物剤	インプレッションクリア	うどんこ病・灰色かび病	1000~2000倍	発病前~ 発病初期	—	トマト・ミニトマトは左記に加え灰色かび病・葉かび病にも適用あり かぼちゃ・ズッキーニは軟腐細菌病で適用あり しょうがは腐敗病で適用あり キャベツは左記に加え黒斑細菌病・黒腐病にも適用あり		
		ボトキラー水和剤	うどんこ病・灰色かび病	1000倍		—			
		タフパール	うどんこ病	2000~4000倍		—			
		マスタピース水和剤	軟腐病	1000~2000倍	収穫前日 まで	—			
		エコショット	灰色かび病	1000~2000倍		—			
	銅剤	コサイド3000	M1	褐斑細菌病・黒腐病 軟腐病・斑点細菌病	2000倍	—	—	ナメクジ類に対する使用時期は、発生前~発生初期 キャベツは褐斑細菌病に適用なし	
		ドイツボルドーA	M1	べと病・軟腐病	500~1000倍	—	—		
		クプロシールド	M1	軟腐病・べと病・斑点細菌病・ナメクジ類	1000倍	発病前~ 発病初期	—		
		Zボルドー	M1	べと病・黒腐病・軟腐病 褐斑細菌病・斑点細菌病・黒斑細菌病	500倍	発病前~ 発病初期	—		
	硫黄	イオウフロアブル	IRAC:UN FRAC:M2	うどんこ病	500~1000倍	発病前~ 発病初期	—	すいか・かぼちゃは500倍 いちごは親株床初期500~1000倍、発病前~発病初期2000倍 トマト・ミニトマトは左記に加えトマトサビダニにも400倍で適用あり(発生初期) ねぎ、あさつき、わけぎは左記に加えさび病にも500倍で適用あり	
		硫黄粉剤50	IRAC:UN FRAC:M2	うどんこ病	3kg/10a	—	—	ハダニ類にも適用あり	
	炭酸水素塩	カリグリーン	NC	うどんこ病・さび病・灰色かび病	800倍	収穫前日 まで	—	なすはうどんこ病のみ適用あり	
		ジーファイン水和剤	NC・M1	うどんこ病・軟腐病・白さび病	1000倍		—		
		ハーモメイト水溶剤	NC	灰色かび病・さび病・うどんこ病	800倍		—		
	殺虫剤	BT剤	トアロー水和剤CT	アオムシ・コナガ	1000~2000倍	発生初期 但し 収穫前日 まで	—	トマト・ミニトマトは左記に加えトマトキバガにも1000倍で適用あり(発生初期) トマト・ミニトマトは左記に加えトマトキバガにも1000倍で適用あり(発生初期) トマト・ミニトマトは左記に加えトマトキバガ1000倍で適用あり(発生初期) はくさいはアオムシ・コナガ・ヨトウムシのみ2000倍で適用あり うり科野菜類は左記に加えウリノメイガにも1000倍で適用あり トマト・ミニトマトは左記に加えトマトキバガ1000倍で適用あり(発生初期) はくさいはアオムシ・コナガ・ヨトウムシのみ1000倍で適用あり	
ヨトウムシ				500~1000倍	—				
トアローフロアブルCT			アオムシ・コナガ	1000~2000倍	—				
			オオタバコガ	500~1000倍	—				
エスマルクDF			オオタバコガ・ヨトウムシ	1000倍	—				
			アオムシ・コナガ	1000~2000倍	—				
デルフィン顆粒水和剤			11A	アオムシ・ハスモンヨトウ・シロイチモジヨトウ オオタバコガ・ウリノメイガ・コナガ	1000倍		—		—
エコマスターBT			11A	アオムシ・コナガ オオタバコガ・ハスモンヨトウ・ヨトウムシ	1000~2000倍 1000倍		—		—
ゼンターリ顆粒水和剤		11A	アオムシ・コナガ・ヨトウムシ オオタバコガ・ハスモンヨトウ シロイチモジヨトウ	1000~2000倍 1000倍	—	—			
フローバックDF		アオムシ・コナガ	1000~2000倍	—					
	オオタバコガ・ハスモンヨトウ・ヨトウムシ	1000倍	—						
サブリーナフロアブル	アオムシ・コナガ・ヨトウムシ	1000倍	トマト・ミニトマトは左記に加えトマトキバガ1000倍で適用あり(発生初期) はくさいはアオムシ・コナガ・ヨトウムシのみ1000倍で適用あり						
	ハスモンヨトウ	500~750倍							
	オオタバコガ	500倍							
物理的阻害	オレート液剤	—	アブラムシ類・コナジラミ類	100倍	発生初期~ 収穫前日まで	—	—		
殺虫殺菌剤	粘着くん液剤	—	うどんこ病	100倍	収穫前日 まで	—	トマト・ミニトマトは左記に加えトマトサビダニにも適用あり なすは左記に加えチャノホコリダニにも適用あり		
		—	アブラムシ類・コナジラミ類・ハダニ類			—			
	サンクリスタル乳剤	—	うどんこ病	300倍		—			
		—	アブラムシ類・コナジラミ類・ハダニ類			—			
	アカリタッチ乳剤	—	ハダニ類	1000~3000倍		—			
		—	うどんこ病	2000倍		—			
エコピタ液剤	—	アブラムシ類・コナジラミ類・ハダニ類	100倍	—					
	—	うどんこ病		—					
フーモン	—	アブラムシ類・コナジラミ類・ハダニ類	1000倍	—	殺菌剤・殺虫剤の展着剤として使用する場合、使用量10ml/散布液10ℓ				
	—	うどんこ病							
その他	クレフノン	—	銅水和剤による薬害の軽減	100~200倍	—	—	銅水和剤に混用して散布		

※薬剤によって薬害発生の恐れがありますので、散布試験をして事前に薬害の有無を確認して薬剤散布をお願いします。

※「とうもろこし」は穀類であるため、「野菜類」で登録された農薬は使用できません。

「とうもろこし」、「未成熟とうもろこし」、「スイートコーン」に登録のある薬剤を使用下さい。

【令和7年12月10日現在の登録内容に基づいて記載しています。】

混用事例集についての注意事項

1. この混用事例集は、農薬の現地混用に関わる薬害・物理化学性等の試験例・事例を参考として紹介するものであって、混用を薦めるものでもなく、また結果を保証するものでもない。
2. この混用事例集は、混用した希釈液を製品として保証するものではない。
3. この混用事例集は、全国的に見た一応の目安として作成した。したがって、地域・産地で経験や知見がある場合は、本表より優先させる。
4. 混用事例の記号の意味については別記のとおり。混用において問題が生じる場合は原則行わない。
5. この混用事例集は、登録の範囲の希釈濃度(無人航空機散布などの高濃度少量散布は除く)で、できるだけすみやかに散布を完了することを前提として作成した。
6. 農薬は単用でも作物の種類、品種、生育ステージ、気象・栽培条件などによって薬害を生じる場合があるが、この混用事例集の表記はあくまで混用を行った場合について表記し、単用による薬害は反映させていない。ただし、混用により、その程度が増幅される場合は、「助長する」として混用事例集に反映させてある。
7. (1) 銅[塩基性塩化銅]のように、成分名で一括表記した薬剤は、個々の薬剤について登録の有無を確認する。
(2) また、これらの成分名一括表記薬剤との混用事例は、必ずしも全ての登録銘柄との混用事例を表すものではない。
8. 単剤で皮膚かぶれを起こしやすい農薬と乳剤の混用は皮膚かぶれをさらに助長することがあるので注意する。
9. 混用の順序
原則として、以下の順序で混用する。ただし、良好な散布薬液を得る手順についての知見や経験がある場合は、それを優先する。
 - (1) 水和剤あるいはフロアブル剤と乳剤の混用
乳剤の希釈液を調製した後、水和剤あるいはフロアブル剤を加えて混合溶液を調製する。少量の水に乳剤、水和剤あるいはフロアブル剤を同時に加え、練ってから希釈することはさける。
 - (2) 水和剤あるいはフロアブル剤どうしの混用
一つの水和剤あるいはフロアブル剤の希釈液を調製した後、次の水和剤あるいはフロアブル剤を加えて混合溶液を調製する。両薬剤を同時に加え、練ってから希釈することはさける。
 - (3) 展着剤を加用する場合
展着剤希釈液を調製した後、水和剤あるいはフロアブル剤を加えて混合溶液を調製する。なお、乳剤の場合は、その順序を問わない。
10. 不明の点は専門の技術者に相談する。
なお、混用に当たっては各薬剤の製品ラベルをよく読むこと。また、本事例集は2025年3月末時点の登録内容に準じて作成されており、発行後に登録内容が変更される場合もあるので、登録内容の確認を十分に行う。
※免責について：JA全農及びクミアイ安全防除推進協会は、本事例集の利用により生じた損害について、その内容、方法の如何に関わらず一切の責任を負うものではございませんのであらかじめご了承ください。

2025年9月 JA全農 耕種資材部

〔記号の説明〕

●：混用して問題なかった。	(乳)：乳剤
◎：使用直前の混用なら問題なかった。	(水)：水和剤
○：混用で凝集するが、攪拌すれば散布に問題なかった。	(液)：液剤
△：物理性、効果低下などの点で問題がある。	(溶)：水溶剤
▲：薬害の点で問題がある。	(DF)：ドライフロアブル剤
×：混用できない。	(EW)：乳濁製剤
—：混用の意味がないか、機会がない。	(FL)：フロアブル剤
空欄：表記するに足りる知見や経験に乏しい。	(MC)：マイクロカプセル剤
	(WG)：顆粒水和剤
	(SG)：顆粒水溶剤

記入例

【記入方法①】
 上段に散布日を記入し、左記より使用した農薬を選んで「○」を付ける簡単な記帳方法です。

支所コード(※)	100	支所名	JA山形	生産者名	置賜太郎	電話番号	0238-99-9999	圃場番号	100					
履歴番号(※)	121	履歴名	きゅうり(夏秋きゅうり)	品種類	夏秋きゅうり	播種日	5月/1日	定植日	6月/1日	収穫終了日	9月/10日			
農薬登録番号 または 屋号抜き農薬番号	90440	【種類名】	オーンサイド水和剤80	【本剤使用回数】	希・月 釈・使 用・倍 数・日	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	8回目	9回目
1	90440	【農薬名】	オーンサイド水和剤80	【希釈倍率】	6									
2	93885	【農薬名】	ダントツ粒剤	【希釈倍率】	○									
3	90785	【農薬名】	オリゼート粒剤	【希釈倍率】	○									
4	90449	【農薬名】	ジマンダイセン水和剤	【希釈倍率】	600倍									
5	91776	【農薬名】	ベフドール水和剤	【希釈倍率】	500倍									
6	91001	【農薬名】	ペンレート水和剤	【希釈倍率】	2000倍									
7	94170	【農薬名】	スコア顆粒水和剤	【希釈倍率】	2000倍									
8	92889	【農薬名】	ペンコゼフロアブル	【希釈倍率】	200倍									
9	94723	【農薬名】	ライメイフロアブル	【希釈倍率】	1000倍									
10	94588	【農薬名】	プロボース顆粒水和剤	【希釈倍率】	1000倍									
11	93646	【農薬名】	ホワイズドライフロアブル	【希釈倍率】	1000倍									
12	95213	【農薬名】	フォリオゴールド	【希釈倍率】	800倍									
13	92058	【農薬名】	ダコニール1000	【希釈倍率】	1000倍									
14	96716	【農薬名】	ファンベル顆粒水和剤	【希釈倍率】	1000倍									
15	94063	【農薬名】	パンチョTF顆粒水和剤	【希釈倍率】	2000倍									
16	92702	【農薬名】	カリグリーン	【希釈倍率】	800倍									
17	92653	【農薬名】	ドキンフロアブル	【希釈倍率】	1000倍									
18	91199	【農薬名】	カスミンポルドー	【希釈倍率】	1000倍									
19	94104	【農薬名】	ドーナツフロアブル	【希釈倍率】	1000倍									
20	93369	【農薬名】	ベルコートフロアブル	【希釈倍率】	2000倍									
21	94208	【農薬名】	ダイアメリットDF	【希釈倍率】	1000倍									
22	94275	【農薬名】	カンタスドライフロアブル	【希釈倍率】	1000倍									
23	92426	【農薬名】	ゲッター水和剤	【希釈倍率】	1500倍									
24	94388	【農薬名】	チエス顆粒水和剤	【希釈倍率】	5000倍									
25	92943	【農薬名】	アークント水和剤	【希釈倍率】	1000倍									
26	92647	【農薬名】	アドマイヤー水和剤	【希釈倍率】	2000倍									
収穫開始日(※)	7月	2日	出荷検査に該当の 収穫開始日を左から順番に記入	生産者確認	006	署名 置賜太郎	氏名	置賜太郎	印					

【記入方法②】
 農薬・植物成長剤・除草剤を記入して下さい。
 展着剤・葉面散布剤は記入の必要はありません。

倍数が異なる場合は枠内に訂正

「収穫開始日」「生産者確認」欄を必ず記入し、収穫(出荷)前の提出をお願いします。

文字は枠内にきれいな字で記入下さい。間違った場合は修正テープで消して下さい。

支所コード(※)	100	支所名	JA山形	生産者名	置賜太郎	電話番号	0238-99-9999	圃場番号	100					
履歴番号(※)	121	履歴名	きゅうり(夏秋きゅうり)	品種類	夏秋きゅうり	播種日	5月/1日	定植日	6月/1日	収穫終了日	9月/10日			
農薬登録番号 または 屋号抜き農薬番号	93883	【種類名】	ダントツ水溶剤	【本剤使用回数】	希・月 釈・使 用・倍 数・日	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	8回目	9回目
1	93883	【農薬名】	ダントツ水溶剤	【希釈倍率】	2000倍									
2	94813	【農薬名】	スターマイトフロアブル	【希釈倍率】	2000倍									
3	92717	【農薬名】	コロマイト乳剤	【希釈倍率】	1000倍									
4	94640	【農薬名】	ダニサラバフロアブル	【希釈倍率】	1000倍									
5	94907	【農薬名】	プレバソフロアブル5	【希釈倍率】	2000倍									
6	93898	【農薬名】	ハチハチ乳剤	【希釈倍率】	1000倍									
7	94538	【農薬名】	フェニックス顆粒水和剤	【希釈倍率】	2000倍									
8	92412	【農薬名】	クレマート乳剤	【希釈倍率】	150/10									
9	91620	【農薬名】	バスタ液剤	【希釈倍率】	100/10									
10	94462	【農薬名】	ラウンドアップマックスロード	【希釈倍率】	100/10									
11	94462	【農薬名】	ラウンドアップマックスロード	【希釈倍率】	100/10									
12	94462	【農薬名】	ラウンドアップマックスロード	【希釈倍率】	100/10									
13	94462	【農薬名】	ラウンドアップマックスロード	【希釈倍率】	100/10									
14	94462	【農薬名】	ラウンドアップマックスロード	【希釈倍率】	100/10									
15	94462	【農薬名】	ラウンドアップマックスロード	【希釈倍率】	100/10									
16	94462	【農薬名】	ラウンドアップマックスロード	【希釈倍率】	100/10									
17	94462	【農薬名】	ラウンドアップマックスロード	【希釈倍率】	100/10									
18	94462	【農薬名】	ラウンドアップマックスロード	【希釈倍率】	100/10									
19	94462	【農薬名】	ラウンドアップマックスロード	【希釈倍率】	100/10									
20	94462	【農薬名】	ラウンドアップマックスロード	【希釈倍率】	100/10									
21	94462	【農薬名】	ラウンドアップマックスロード	【希釈倍率】	100/10									
22	94462	【農薬名】	ラウンドアップマックスロード	【希釈倍率】	100/10									
23	94462	【農薬名】	ラウンドアップマックスロード	【希釈倍率】	100/10									
24	94462	【農薬名】	ラウンドアップマックスロード	【希釈倍率】	100/10									
25	94462	【農薬名】	ラウンドアップマックスロード	【希釈倍率】	100/10									
26	94462	【農薬名】	ラウンドアップマックスロード	【希釈倍率】	100/10									
収穫開始日(※)	7月	2日	出荷検査に該当の 収穫開始日を左から順番に記入	生産者確認	006	署名 置賜太郎	氏名	置賜太郎	印					

①散布日を記入する ※空欄でも日付が前後しても大丈夫です。

一枚目同様に二枚目にも記入。

②農薬を選ぶ ※農薬名はJA野菜防除基準に採用している農薬を印刷。記載がない農薬は農薬番号・薬剤名・倍数を手書きする。

③対応するマスに「○」をつける。

「収穫開始日」「生産者確認」欄は一枚目同様に二枚目にも記入。

農薬コード表(対象作物:野菜)

アルファベット⇒カタカナ⇒漢字の順で並んでいます。

コード	名称	用途	コード	名称	用途	コード	名称	用途
91473	DC油剤	殺虫殺菌剤	93349	アフーム乳剤	殺虫剤	94145	オキシラン水和剤	殺菌剤
94638	D-D	殺虫殺菌剤	93403	アフィパール	殺虫剤	91577	オキシンドー水和剤80	殺菌除草剤
90327	D-D	殺虫殺菌剤	94759	アフエットフロアブル	殺菌剤	93974	オクトクロス	殺菌剤
92807	ICボルドー66D	殺虫殺菌剤	91617	アブローチBI	その他	95254	オラクル粉剤	殺菌植調剤
91453	K. Kステッカー	その他	93497	アブロードエースフロアブル	殺虫剤	95253	オラクル顆粒水和剤	殺菌植調剤
95547	KBW	殺菌剤	93396	アブロードフロアブル	殺虫剤	92750	オリオン水和剤40	殺虫剤
90272	MCPソーダ塩	除草剤	91581	アブロード水和剤	殺虫剤	93759	オリスター-A	殺虫剤
90186	NCS	殺虫殺菌除草剤	91434	アブロン	その他	90785	オリゼメート粒剤	殺菌剤
94525	Y-ハッテン	その他	98049	アベイル粒剤	殺虫剤	98293	オリゼメート顆粒水和剤	殺菌剤
90136	Zボルドー	殺菌剤	99055	アベンジャーフロアブル	殺虫剤	94443	オルトランDX粒剤	殺虫剤
92365	Zボルドー粉剤DL	殺菌剤	93413	アミスター20フロアブル	殺菌剤	90769	オルトラン水和剤	殺虫剤
94872	アークランド液剤	植物成長調整剤	94113	アミスターオブティフロアブル	殺菌剤	90770	オルトラン粒剤	殺虫剤
90607	アージラン液剤	除草剤	94533	あめんこ	殺虫殺菌剤	97947	オルパ顆粒水和剤	殺菌剤
97556	アースガーデンT	殺虫剤	91504	アリエッティC水和剤	殺菌剤	92661	オレート液剤	殺虫殺菌剤
92943	アードント水和剤	殺虫剤	91537	アリエッティ水和剤	殺菌剤	98500	オロネディスウルトラSC	殺菌剤
94463	アーリーセーフ	殺虫殺菌剤	94037	アリガタ	殺虫剤	93937	オンリーワンフロアブル	殺菌剤
94992	アーリーセーフスプレー	殺虫殺菌剤	99011	アルバリン液剤10	殺虫剤	93325	カーゼートPZ水和剤	殺菌剤
81277	アイーナ20フロアブル	殺菌剤	93897	アルバリン粉剤DL	殺虫剤	94833	ガーディーAL	殺虫殺菌剤
96571	アイヤーエース	その他	93891	アルバリン粒剤	殺虫剤	97555	ガーデンアシストVスプレー	殺虫剤
98074	アカメ	殺虫剤	93895	アルバリン顆粒水溶剤	殺虫剤	98951	ガーデンアシストWSスプレー	殺虫殺菌剤
93776	アカリタッチ乳剤	殺虫殺菌剤	93521	アントラコール顆粒水和剤	殺菌剤	96325	ガーデンアシストエーススプレー	殺虫殺菌剤
94960	アクセルキングフロアブル	殺虫剤	92304	イオウフロアブル	殺虫殺菌剤	95615	ガーデンアシストクイーンズスプレー	殺虫殺菌剤
94904	アクセルフロアブル	殺虫剤	94375	イサパラリ	殺虫剤	95704	ガーデンアシストバームスプレー	殺虫殺菌剤
95316	アクセルベイト	殺虫剤	96358	イデクリーン水和剤	殺虫殺菌剤	99081	ガーデンアシストビュースプレー	殺虫殺菌剤
94506	アクタラAL	殺虫剤	97942	インプレッションクリア	殺菌剤	99145	ガーデンアシストピレススプレー	殺虫剤
93823	アクタラ粒剤5	殺虫剤	81300	ウィードアウト液剤	除草剤	98956	ガーデンアシストプラススプレー	農薬肥料
93822	アクタラ顆粒水溶剤	殺虫剤	93169	ウイスベクト水和剤5	殺菌剤	94591	ガーデントップ	殺虫剤
98498	アクティガード顆粒水和剤	殺菌剤	96324	ウィニングスプレー	殺虫殺菌剤	95312	ガードナーフロアブル	殺虫剤
90050	アグリマイシン-100	殺菌剤	94482	ウララDF	殺虫剤	92170	ガードベイトA	殺虫剤
97582	アグリメック	殺虫剤	95642	ウララくん煙剤	殺虫剤	94696	ガードホープ液剤	殺虫剤
95184	アグレイド	その他	91440	エアータック乳剤	殺虫剤	98552	カーニバル水和剤	殺菌剤
90937	アグレプト液剤	殺菌植調剤	92879	エイトアップ液剤	除草剤	94187	カウンター乳剤	殺虫剤
90152	アグレプト水和剤	殺菌剤	96602	エイブロン31	殺菌剤	93770	カゲタロウ	殺虫剤
94933	アグロケア水和剤	殺菌剤	98381	エクシードフロアブル	殺虫剤	92749	カスケード乳剤	殺虫剤
91966	アグロスリン水和剤	殺虫剤	94333	エコショット	殺菌剤	92430	ガスタード微粒剤	殺虫殺菌除草剤
91967	アグロスリン乳剤	殺虫剤	94358	エコピタ液剤	殺虫殺菌剤	90979	カスミンバリダシン液剤	殺菌剤
93254	アグロマックス水和剤	除草剤	94527	エコホープDJ	殺菌剤	91199	カスミンボルドー	殺菌剤
90942	アタッキン水和剤	殺菌剤	94582	エコマスターBT	殺虫剤	92718	カセット水和剤	殺菌剤
90588	アタックオイル	殺菌植調剤	93370	エスマルクDF	殺虫剤	81175	カダンMAX	殺虫殺菌剤
92185	アタブロン乳剤	殺虫剤	90754	エスレル10	植物成長調整剤	92664	カダンV	殺虫剤
95250	アップライト	その他	97639	エトフィンフロアブル	殺菌剤	93174	カダンV2	殺虫殺菌剤
92484	アディオンフロアブル	殺虫剤	91159	エビセクト水和剤	殺虫剤	94592	カダンスプレーEX	殺虫剤
91709	アディオン乳剤	殺虫剤	94040	エルカード	殺虫剤	93961	カダンセーフ	殺虫殺菌剤
92649	アドマイヤー1粒剤	殺虫剤	90352	エルサン水和剤40	殺虫剤	98875	カダンセーフ2	殺虫殺菌剤
92774	アドマイヤーフロアブル	殺虫剤	90150	エルサン乳剤	殺虫剤	94910	カダンセーフ原液	殺虫殺菌剤
92647	アドマイヤー水和剤	殺虫剤	90148	エルサン粉剤2	殺虫剤	99004	カダンパワーガード粒剤	農薬肥料
93640	アドマイヤー顆粒水和剤	殺虫剤	92930	エンストリップ	殺虫剤	94834	カダンプラスDX	殺虫殺菌剤
95166	アニキ乳剤	殺虫剤	90440	オーソサイド水和剤80	殺菌剤	81174	カダンベジMAX	殺虫殺菌剤
90616	アピオン-E	その他	90440	オーソサイド水和剤80	殺菌除草剤	98510	カチオンプラス	その他
94578	アフームエクセラ顆粒水和剤	殺虫剤	97960	オールスタースプレー	殺虫剤	97904	ガッテンフロアブル2	殺菌剤

コード	名称	用途	コード	名称	用途	コード	名称	用途
97564	ガッテン乳剤	殺菌剤	98803	クミガードSC	殺菌剤	92500	コロナフロアブル	殺虫殺菌剤
91609	カッパーシン水和剤	殺菌剤	94652	クミテンエース	その他	93255	コロナイト水和剤	殺虫剤
98584	カナメフロアブル	殺菌剤	92117	クムラス	殺虫殺菌剤	92717	コロナイト乳剤	殺虫剤
93550	カネマイトフロアブル	殺虫剤	81296	グラディウス	殺虫剤	94005	コンパカレール液剤	除草剤
98867	カビナイスPZ水和剤	殺菌剤	81282	グラミンP	その他	94199	コンフェューザーV	誘引・誘殺・交尾阻害剤
97896	カメノCS	殺虫剤	91495	グラメックス水和剤	除草剤	92893	コンボラル	除草剤
92702	カリグリーン	殺菌剤	94682	クリアザールフロアブル	殺虫剤	92149	サイハロン水和剤	殺虫剤
95162	カリスト	除草剤	99149	クリアシーブ乳剤	除草剤	92150	サイハロン乳剤	殺虫剤
93636	カルナクス	除草剤	92892	クリアターン細粒剤F	除草剤	95440	ザクサ液剤	除草剤
94479	カルビオ	殺菌剤	92789	クリアターン乳剤	除草剤	90737	サターンバアロ乳剤	除草剤
90666	カルホス乳剤	殺虫剤	94860	クリーンカップ	殺菌剤	91089	サターンバアロ粒剤	除草剤
90949	カルホス微粒剤F	殺虫剤	98406	グリーンスキットシャワー	除草剤	94302	サバクトップ	殺虫剤
90802	カルホス粉剤	殺虫剤	90450	グリーンダイセンM水和剤	殺菌剤	95255	サフオイル乳剤	殺虫殺菌剤
90969	カルホス粉剤3	殺虫剤	92888	グリーンペンコゼブ水和剤	殺菌剤	93811	サブマーヅ	その他
90613	カルメート55	その他	81189	クリーンワイドフロアブル	殺虫殺菌剤	94415	サブリナフロアブル	殺虫剤
90726	カルメート60	その他	92877	グリホエキス液剤	除草剤	90912	サブロール乳剤	殺菌剤
92061	カルモック	殺虫剤	94135	グリホキング	除草剤	93569	サルバトーレME	殺菌剤
98815	カレター	除草剤	98453	グリホス液剤	除草剤	92366	サルファーゾル	殺虫殺菌剤
94275	カンタスドライフロアブル	殺菌剤	97514	クルーザー48	殺虫剤	92065	サンキャッチ液剤30S	植物成長調整剤
97543	カンパネラ水和剤	殺菌剤	94239	クルーザーFS30	殺虫剤	93617	サンクリスタル乳剤	殺虫殺菌剤
97676	キイトップ	殺虫剤	95452	クルーザーMAXX	殺虫殺菌忌避剤	94042	サンダーボルト007	除草植調剤
95187	キックオフ顆粒水和剤	殺虫剤	98519	グレースシア乳剤	殺虫剤	92878	サンフーロン液剤	除草剤
92476	キノドーフロアブル	殺菌剤	90388	クレフノン	その他	97926	ザンプロDMフロアブル	殺菌剤
90303	キノドーフ水和剤40	殺菌剤	91209	クレマートU粒剤	除草剤	97925	ザンプロフロアブル	殺菌剤
97975	キノドーフ顆粒水和剤	殺菌剤	92412	クレマート乳剤	除草剤	90920	サンボルドー	殺菌剤
90580	キヒゲン	殺虫殺菌忌避剤	90003	クロールピクリン	殺虫殺菌除草剤	92467	サンマイトフロアブル	殺虫殺菌剤
93772	キヒゲンR-2フロアブル	殺虫殺菌忌避剤	98960	クロスアウトフロアブル	殺菌剤	90399	サンヨール	殺虫殺菌剤
93148	キヒゲンディーフロアブル	殺菌忌避剤	90219	クロピク80	殺虫殺菌除草剤	97578	サンヨールトレボンスプレー	殺虫殺菌剤
98170	ギフパール	殺虫剤	93558	クロピクテープ	殺虫殺菌剤	93916	サンヨール液剤AL	殺虫殺菌剤
97949	キモンブロック液剤	殺虫殺菌剤	94128	クロピクフロー	殺虫殺菌植調剤	92967	シアノット	除草植調剤
94140	キャピタルグリホサート41%	除草剤	98051	クロピクフローMN	殺虫殺菌剤	92766	ジーファイン水和剤	殺菌剤
90927	キャブレート水和剤	殺菌剤	92156	クロールピクリン錠剤	殺虫殺菌除草剤	93985	ジェイエース水溶剤	殺虫剤
94720	キュービオZY-02	殺菌剤	90275	クロロIPC	除草剤	93969	ジェイエース粒剤	殺虫剤
90986	キュウルア	誘引・誘殺・交尾阻害剤	90114	クロロIPC乳剤	除草剤	93984	ジェネレート水溶剤	殺虫剤
97520	キュープロフィックス40	殺虫殺菌剤	90160	ゲザガード50	除草剤	93968	ジェネレート粒剤	殺虫剤
94277	キラップフロアブル	殺虫剤	95272	ゲザノンゴールド	除草剤	98013	ジオゼット水和剤	殺菌剤
92760	キルパー	殺虫殺菌除草剤	91057	ゲザプリムフロアブル	除草剤	94807	シグナムWDG	殺菌剤
91190	キンセット水和剤	殺菌剤	92426	ゲッター水和剤	殺菌剤	98176	システムスワルくん	殺虫剤
93553	クオークフロアブル	殺虫剤	93676	ゲットアウトWDG	殺虫剤	98983	システムスワルくんロング	殺虫剤
93404	ククメリス	殺虫剤	98365	ケンジャフロアブル	殺菌剤	98181	システムミヤコくん	殺虫剤
99111	ククメリスEX	殺虫剤	91909	ゴーゴーサン細粒剤F	除草剤	93264	シトラノフロアブル	殺菌剤
94355	クサキングエースフロアブル	除草剤	94737	ゴーゴーサン乳剤	除草剤	90168	ジベラ錠	植物成長調整剤
95616	クサクリア	除草剤	91497	ゴーゴーサン乳剤30	除草剤	90185	ジベラ錠5	植物成長調整剤
93401	クサクリーン液剤	除草剤	94942	コサイド3000	殺菌剤	90169	ジベレリン	植物成長調整剤
95153	クサトリーナ	除草剤	97897	コダールS水和剤	除草剤	90170	ジベレリン液剤	植物成長調整剤
94367	クサトリキング	除草剤	94734	ゴッツA	殺虫殺菌剤	91594	ジベレリン錠剤	植物成長調整剤
94117	クサトローゼ	除草剤	93047	コテツフロアブル	殺虫剤	90171	ジベレリン粉末	植物成長調整剤
93275	クサブロー	除草剤	95252	コルト顆粒水和剤	殺虫剤	93175	ジマンダイセンフロアブル	殺菌剤
98307	クプロザートフロアブル	殺虫殺菌剤	93944	コレトトップ	殺虫剤	90449	ジマンダイセン水和剤	殺虫殺菌剤
98308	クプロシールド	殺虫殺菌剤	94597	コレパラリ	殺虫剤	96714	ジャストフィットフロアブル	殺菌剤

コード	名称	用途	コード	名称	用途	コード	名称	用途
93693	ジャストミート顆粒水和剤	殺菌剤	94647	セルオーフロアブル	殺虫剤	93509	チェス粒剤	殺虫剤
94031	ジャスモメート液剤	殺虫補調剤	93410	セレクト乳剤	除草剤	94388	チェス顆粒水和剤	殺虫剤
95148	ジャックポット顆粒水和剤	殺虫剤	96359	セレナーデ水和剤	殺菌剤	94947	チャバラ	殺虫剤
98056	シャフト10顆粒水和剤	殺菌剤	91219	センコル水和剤	除草剤	92059	チューリサイド水和剤	殺虫剤
94953	ジュリボフロアブル	殺虫剤	93232	ゼンターリ顆粒水和剤	殺虫剤	95147	チューレックス顆粒水和剤	殺虫剤
98030	ショウチノスケフロアブル	殺菌剤	93593	ソイリーン	殺虫殺菌除草剤	93706	チューンアップ顆粒水和剤	殺虫剤
94237	シンノングリスター	除草剤	98393	ソープガード	殺虫殺菌剤	94940	チリカ・ワーカー	殺虫剤
92244	スカウトフロアブル	殺虫剤	98575	ソーベック エネケード OD	殺菌剤	81292	チリカ・ワーカー2	殺虫剤
92030	スカウト乳剤	殺虫剤	98578	ソーベック エニベル 顆粒水和剤	殺菌剤	94486	チリガブリ	殺虫剤
93037	スカッシュ	その他	99139	ソーベックエンテクタSE	殺菌剤	93919	チリトップ	殺虫剤
81154	スクリューパーンチWDG	殺虫剤	92995	ソータルWDG	殺菌剤	81188	チリパック	殺虫剤
98098	スクレアフロアブル	殺菌剤	93534	ターンアウト液剤	除草剤	92432	チルト乳剤25	殺菌剤
91898	スクレタン水和剤	殺菌剤	90088	ダイアジノン水和剤34	殺虫剤	93760	ツヤトップ	殺虫剤
92689	スコア水和剤10	殺菌剤	90313	ダイアジノン乳剤40	殺虫剤	95206	ツヤトップ25	殺虫剤
94170	スコア顆粒水和剤	殺菌剤	93609	ダイアジノン粒剤10	殺虫剤	94357	ツヤパラリ	殺虫剤
97696	スターガードプラスAL	殺虫殺菌剤	90184	ダイアジノン粒剤3	殺虫剤	90851	ディトラベックス油剤	殺虫殺菌除草剤
95197	スターガード粒剤	殺虫剤	90429	ダイアジノン粒剤5	殺虫剤	95445	ディアナSC	殺虫剤
94153	スタークルメイト液剤10	殺虫剤	94208	ダイアメリットDF	殺虫殺菌剤	94000	テーク水和剤	殺菌剤
94152	スタークル液剤10	殺虫剤	95134	ダイナモ顆粒水和剤	殺菌剤	90190	テデオ水和剤	殺虫剤
93896	スタークル粉剤DL	殺虫剤	93572	ダイパワー水和剤	殺菌剤	92593	テデオ乳剤	殺虫剤
93890	スタークル粒剤	殺虫剤	93644	ダイマジン	殺菌剤	90728	テナボン5%ベイト	殺虫剤
93894	スタークル顆粒水溶剤	殺虫剤	93810	タイリク	殺虫剤	90620	テナボン粒剤5	殺虫剤
92220	スターナ水和剤	殺菌剤	90990	ダコソイル	殺菌剤	98138	デニムフィット45顆粒水和剤	殺虫剤
94813	スターマイトフロアブル	殺虫剤	92058	ダコニール1000	殺菌剤	92079	デミリン水和剤	殺虫剤
90602	ステッセル	その他	81209	ダコニールアルファ	殺菌剤	95271	デュアルゴールド	除草剤
93343	ストロビーフロアブル	殺菌剤	93542	ダコニールエース	殺菌剤	97516	デュアルサイド水和剤	殺虫殺菌剤
94785	スネック粒剤	殺虫剤	94551	ダコニールジェット	殺菌剤	98306	デリシヤス水和剤	殺菌剤
94770	スパイカルEX	殺虫剤	90471	ダコニール粉剤	殺菌剤	95146	テルスタージェット	殺虫剤
96334	スパイカルプラス	殺虫剤	91154	ダコレート水和剤	殺菌剤	92931	テルスターフロアブル	殺虫剤
99121	スパイカルプラスUM	殺虫剤	98082	タチガレファイト液剤	農業肥料	92597	テルスター水和剤	殺虫剤
92929	スパイデックス	殺虫剤	90421	タチガレン液剤	殺菌補調剤	93379	デルフィン顆粒水和剤	殺虫剤
99112	スパイデックスバイタル	殺虫剤	90470	タチガレン粉衣剤	殺菌剤	92532	テレオ水和剤	殺菌剤
93546	スピノエース顆粒水和剤	殺虫剤	90469	タチガレン粉剤	殺菌補調剤	94639	テロン	殺虫殺菌剤
94654	スプレイザーエース	その他	94071	タッチダウンiQ	除草補調剤	97683	テントップ	殺虫剤
90454	スプレーオイル	殺虫殺菌剤	81198	ダニオーテ2フロアブル	殺虫剤	93468	トアローフロアブルCT	殺虫剤
92555	スミセブンP液剤	植物成長調整剤	98539	ダニオーテフロアブル	殺虫剤	91140	トアロー水和剤CT	殺虫剤
90120	スミチオン乳剤	殺虫剤	98053	ダニコングフロアブル	殺虫剤	90248	ドイツボルドー-A	殺菌剤
94529	スミフェート粒剤	殺虫剤	94640	ダニサラバフロアブル	殺虫剤	93587	ドイツボルドー-DF	殺菌剤
92425	スミブレンド水和剤	殺菌剤	92461	ダニトロンフロアブル	殺虫剤	94104	ドーシヤスフロアブル	殺菌剤
91157	スミレックスくん煙顆粒	殺菌剤	94137	ダニメツフロアブル	殺虫剤	90528	ドーマイシン水和剤	殺菌剤
91156	スミレックス水和剤	殺菌剤	94596	ダニ太郎	殺虫剤	92653	ドキンフロアブル	殺菌剤
92375	スミロディー乳剤	殺虫剤	94540	タフパール	殺菌剤	92619	トクチオン細粒剤F	殺虫剤
94547	スラゴ	殺虫剤	98411	ダブルシューターSE	殺虫剤	90838	トクチオン乳剤	殺虫剤
98202	スワマイト	殺虫剤	93861	ダブルストッパー	殺虫殺菌剤	90837	トクチオン粉剤	殺虫剤
94812	スワルスキー	殺虫剤	98054	ダブルフェースフロアブル	殺虫剤	90140	ドジョウピクリン	殺虫殺菌除草剤
95858	スワルスキープラス	殺虫剤	92314	タルガフロアブル	除草剤	94213	トスパック	殺虫剤
93170	セイビアフロアブル20	殺菌剤	93883	ダントツ水溶剤	殺虫剤	91061	トップジンMゾル	殺菌剤
81194	セーフガード乳剤	殺菌剤	93885	ダントツ粒剤	殺虫剤	90836	トップジンMペースト	殺菌補調剤
81306	セコンドDF	殺虫剤	90118	チウラム80	殺菌剤	90558	トップジンM水和剤	殺菌剤
99085	セフィーナDC	殺虫剤	93507	チェス水和剤	殺虫剤	94690	トップジンM粉剤DL	殺菌剤

コード	名称	用途	コード	名称	用途	コード	名称	用途
99043	トップメリットフロアブル	除草剤	94952	ネマキック粒剤	殺虫剤	91079	ビティグラン水和剤	殺菌剤
90178	トマトーン	植物成長調整剤	98312	ネマショット粒剤	殺虫剤	98251	ビネガーキラ	除草剤
93622	トマトーンスプレー	植物成長調整剤	93590	ネマトリンエース粒剤	殺虫剤	92883	ビビフルフロアブル	植物成長調整剤
90403	トモノールS	殺虫殺菌剤	92595	ネマトリン粒剤	殺虫剤	93943	ヒメトップ	殺虫剤
98548	ドライバー	その他	92436	ノーモルト乳剤	殺虫剤	81262	ヒメハナエース	殺虫剤
91458	トラベックサイド油剤	殺虫殺菌剤	94006	ハーブ・ニート液剤	除草剤	92699	ピラニカEW	殺虫殺菌剤
98380	トランスフォームフロアブル	殺虫剤	91412	ハーベストオイル	殺虫殺菌剤	92503	ビリーブ水和剤	殺虫剤
93543	トリガード液剤	殺虫剤	91501	パーマチオン水和剤	殺虫剤	93418	ビルク水和剤	殺虫剤
91985	トリフミンジェット	殺菌剤	92863	ハーモメイト水溶剤	殺菌剤	98480	ビレスコ顆粒水和剤	殺虫剤
91846	トリフミン水和剤	殺菌剤	92994	バイオリサ・カミキリ	殺虫剤	98382	ファーモアiQ	植物成長調整剤
92292	トリフミン乳剤	殺菌剤	94202	バイオワーク水和剤	殺菌剤	99063	ファインスナイパー	殺虫剤
95211	トルネードエースDF	殺虫剤	92181	バイスロイドEW	殺虫剤	98423	ファインセーフフロアブル	殺虫剤
90246	トレファノサイド乳剤	除草剤	92179	バイスロイド乳剤	殺虫剤	98952	ファイントリムDF	殺虫剤
90392	トレファノサイド粒剤2.5	除草剤	93187	バイデートL粒剤	殺虫剤	94706	ファルコンエースフロアブル	殺虫剤
92673	トレボンEW	殺虫剤	98075	バイデートMK	殺虫剤	93826	ファルコンフロアブル	殺虫剤
93140	トレボンMC	殺虫剤	93708	ハイテンパワー	その他	96715	ファンタジスタ顆粒水和剤	殺菌剤
92354	トレボンエアー	殺虫剤	94003	ハイーフウノン液剤	除草剤	96716	ファンベル顆粒水和剤	殺菌剤
92033	トレボン乳剤	殺虫剤	97009	バイベニカVスプレー	殺虫剤	95219	フィールドスターP乳剤	除草剤
92032	トレボン粉剤DL	殺虫剤	97908	パイレーツ粒剤	殺虫剤	93057	フィールドスター乳剤	除草剤
90135	ドロクロール	殺虫殺菌除草剤	92424	パウミル水和剤	殺菌剤	81187	フィールドマストフロアブル	殺虫剤
91718	ナブ乳剤	除草剤	91502	ハクサップ水和剤	殺虫剤	98135	フーモン	殺虫殺菌剤
93982	ナミトップ	殺虫剤	98957	バコトップ	殺虫剤	93201	フェスティバルC水和剤	殺菌剤
94279	ナミトップ20	殺虫剤	94149	バサグラン液剤(ナトリウム塩)	除草剤	93199	フェスティバル水和剤	殺菌剤
94618	ナメクジキラーフエース	殺虫剤	91221	バシタック水和剤75	殺菌剤	95300	フェニックスフロアブル	殺虫剤
94620	ナメクジ退治	殺虫剤	91340	バシレックス水和剤	殺虫剤	81287	フェニックスマストフロアブル	殺虫剤
98069	ナメクリーン3	殺虫剤	91124	バスアミド微粒剤	殺虫殺菌除草剤	94538	フェニックス顆粒水和剤	殺虫剤
94619	ナメトール	殺虫剤	98338	バスタ プロ液剤	除草剤	94546	フェラモール	殺虫剤
99057	ナメトックスFL	殺虫剤	98816	バスタAL	除草剤	92688	フォース粒剤	殺虫剤
99167	ナメトックススプレー	殺虫剤	91620	バスタ液剤	除草剤	95213	フォリオゴールド	殺菌剤
99144	ナメトックスハウス	殺虫剤	93473	パストリア水和剤	殺虫剤	98579	フォルテンザFS	殺虫剤
99056	ナメトックス粒剤	殺虫剤	92940	パダンSG水溶剤	殺虫殺菌剤	95855	フジドーLフロアブル	殺菌剤
98068	ナメナイト	殺虫剤	90321	パダン水溶剤	殺虫剤	81276	フセキエースフロアブル	殺菌剤
92530	ナレート水和剤	殺菌剤	90515	パダン粒剤4	殺虫剤	81266	フセキワイドフロアブル	殺菌剤
92564	ニーズ	その他	95249	パチスター水和剤	殺菌剤	95457	ブライア水和剤	殺菌剤
91772	ニッソラン水和剤	殺虫剤	94034	ハチハチフロアブル	殺虫殺菌剤	93496	ブラボー	その他
98348	ニマイパー水和剤	殺菌剤	93898	ハチハチ乳剤	殺虫殺菌剤	93276	フリーパス	除草剤
99002	ニワクリーン液剤	殺虫剤	91645	ハツパ乳剤	殺虫殺菌剤	91887	ブリグロックSL	除草植調剤
94917	ネキリエースK	殺虫剤	93781	バリアード顆粒水和剤	殺虫剤	93532	ブリザード水和剤	殺菌剤
98086	ネキリベイト	殺虫剤	92295	バリダシン液剤5	殺菌剤	93799	ブリファード水和剤	殺虫剤
98303	ネクスターフロアブル	殺菌剤	98024	パルミノ	殺虫殺菌剤	98874	ブリロソソ粒剤オメガ	殺虫剤
97522	ネコソギガーデンシャワー	除草剤	98424	パレード20フロアブル	殺菌剤	93059	プリンス粒剤	殺虫剤
94356	ネコソギクイックプロFL	除草剤	81288	パレードプラスフロアブル	殺菌剤	93784	プリントフロアブル25	殺菌剤
95703	ネコソギプロ液剤	除草剤	93417	パロックフロアブル	殺虫剤	98247	ブルーシアフロアブル	除草剤
94823	ネビジンSC	殺菌剤	93454	パワーガイザー液剤	除草剤	93025	ブルースカイ粒剤	殺虫剤
92646	ネビジン粉剤	殺菌剤	94282	パンチョTFジェット	殺菌剤	93371	フルピカくん煙剤	殺菌剤
94293	ネビジン顆粒水和剤	殺菌剤	94063	パンチョTF顆粒水和剤	殺菌剤	93006	フルピカフロアブル	殺菌剤
93986	ネビモン粉剤	殺菌剤	93996	パンチョ顆粒水和剤	殺菌剤	94842	フルミオWDG	除草剤
98524	ネビライト粉剤	殺菌剤	91125	ビーエー液剤	植物成長調整剤	92241	フルメット液剤	植物成長調整剤
94912	ネビリュウ	殺菌剤	97635	ピクシオDF	殺菌剤	94798	ブレイクスルー	その他
97609	ネマキック液剤	殺虫剤	98328	ピシロックフロアブル	殺菌剤	94193	プレオフロアブル	殺虫剤

コード	名称	用途	コード	名称	用途	コード	名称	用途
94907	プレバソフロアブル5	殺虫剤	93397	ベニドーDF	殺菌剤	93612	マトリックフロアブル	殺虫剤
96279	プレバソン粒剤	殺虫剤	92656	ベニドー水和剤	殺菌剤	93186	マネージDF	殺菌剤
92217	プレビクールN液剤	殺菌剤	97544	ベネセット水和剤	殺菌剤	92822	マネージ水和剤	殺菌剤
98071	プレリユード液剤	植物成長調整剤	98003	ベネビアOD	殺虫剤	92523	マブリックEW	殺虫剤
98029	フレンダーフロアブル	殺菌剤	98127	ベミデタッチ	殺虫殺菌剤	92024	マブリックジェット	殺虫剤
92871	ブローダ水和剤	殺菌剤	94603	ベミパール	殺虫剤	92022	マブリック水和剤20	殺虫剤
94020	ブロードワン顆粒水和剤	殺菌剤	81299	ベミパールEX	殺虫剤	94587	マモロット顆粒水和剤	殺菌剤
93806	フローバックDF	殺虫剤	81121	ベランティーフロアブル	殺菌剤	94314	マラソン乳剤	殺虫剤
97915	ブロールプラス乳剤	除草剤	98004	ベリマークSC	殺虫剤	90028	マラソン乳剤50	殺虫剤
98850	ブロシード顆粒水和剤	除草剤	93369	ベルコートフロアブル	殺菌剤	90036	マラソン粉剤3	殺虫剤
97692	ブロパティフロアブル	殺菌剤	92881	ベルコート水和剤	殺菌剤	93663	マルガリーダ	除草剤
81285	ブロブラッド液剤	殺菌剤	93934	ベルベカット乳剤	除草剤	81196	マンゼート水和剤	殺菌剤
98869	ブロフレア20SC	殺虫剤	92889	ペンコゼブフロアブル	殺菌剤	98859	ミギワ10フロアブル	殺菌剤
98868	ブロフレアSC	殺虫剤	92890	ペンコゼブ水和剤	殺虫殺菌剤	90128	マイクロデナポン水和剤85	殺虫植調剤
94588	プロボーズ顆粒水和剤	殺菌剤	90684	ベンレートT水和剤20	殺虫殺菌剤	81290	ミックスセーフ	その他
92853	フロンサイドSC	殺虫殺菌剤	91001	ベンレート水和剤	殺虫殺菌剤	98904	ミッチトップ	殺虫剤
92361	フロンサイド水和剤	殺虫殺菌剤	91001	ベンレート水和剤	殺菌剤	94307	ミドリヒメ	殺虫剤
92362	フロンサイド粉剤	殺菌剤	93647	ホーネスト乳剤	除草剤	94598	ミニタンWG	殺菌剤
81309	フロンサイド粉粒剤	殺菌剤	90902	ホーマイコート	殺菌剤	99153	ミネクトエクストラSC	殺虫剤
92301	ペイオフME液剤	殺虫剤	90901	ホーマイ水和剤	殺虫殺菌剤	98180	ミネクトデュオ粒剤	殺虫剤
95301	ペガサスフロアブル	殺虫剤	95217	ボクサー	除草剤	81289	ミヤコ・ワーカー	殺虫剤
98063	ベジセイバー	殺菌剤	93979	ボタニガードES	殺虫殺菌剤	97765	ミヤコスター	殺虫剤
95644	ベジターボDF	殺菌剤	96568	ボタニガード水和剤	殺虫剤	95435	ミヤコトップ	殺虫剤
99047	ベジタブルガード	殺虫殺菌剤	93398	ポテガードDF	殺菌剤	98807	ミリオネアフロアブル	殺菌剤
93042	ベジタメートAL	殺虫剤	93482	ポトキラー水和剤	殺菌剤	94911	ムシラップ	殺虫殺菌剤
98323	ベジリード粒剤	殺虫剤	93646	ホライズンドライブフロアブル	殺菌剤	97521	ムッシュボルドーDF	殺虫殺菌剤
93008	ベストガード水溶剤	殺虫剤	95277	ポリウムガンダム顆粒水和剤	殺虫剤	98199	メジャーフロアブル	殺菌剤
93009	ベストガード粒剤	殺虫剤	94315	ポリオキシAL水溶剤	殺虫殺菌剤	90420	メチルオイゲノール	誘引・誘殺・交尾阻害剤
91314	ベタンV	その他	90371	ポリオキシAL水和剤	殺虫殺菌剤	93918	メリトップ	殺虫剤
94878	ベトファイター顆粒水和剤	殺菌剤	90610	ポリオキシAL乳剤	殺菌剤	95853	モーティブ乳剤	除草剤
98817	ベニカAスプレー	殺虫剤	91469	ボルドー	殺菌剤	95643	モストップジンRSスプレー	殺虫殺菌剤
98195	ベニカRスプレー	殺虫剤	90010	ボルドー液用生石灰	その他	94188	モスピラントップジンMSスプレー	殺虫殺菌剤
98106	ベニカR乳剤	殺虫剤	90138	ボルドー液用粉末生石灰	その他	93796	モスピランSL液剤	殺虫剤
97160	ベニカS乳剤	殺虫剤	93419	ボルトフロアブル	除草剤	93127	モスピランジェット	殺虫剤
98462	ベニカVフレッシュスプレー	殺虫殺菌剤	95299	ホワイトコート	その他	93493	モスピラン液剤	殺虫剤
98592	ベニカXガード粒剤	殺虫殺菌剤	92010	マイキラー	殺虫剤	93016	モスピラン水溶剤	殺虫剤
98461	ベニカXネクストスプレー	殺虫殺菌剤	98445	マイキラーL	殺虫剤	93017	モスピラン粒剤	殺虫剤
94929	ベニカXファインスプレー	殺虫殺菌剤	91786	マイコシールド	殺菌剤	94969	モスピラン顆粒水溶剤	殺虫剤
94628	ベニカグリーンVスプレー	殺虫殺菌剤	93836	マイコタール	殺虫殺菌剤	97546	モベントフロアブル	殺虫殺菌剤
99066	ベニカナチュラルスプレー	殺虫殺菌剤	90304	マイシン20水和剤	殺菌剤	90182	モレスタン水和剤	殺虫殺菌剤
81291	ベニカナチュラルベイト	殺虫剤	91888	マイゼット	除草植調剤	92968	モンカットファイン粉剤20DL	殺菌剤
97950	ベニカベジフルVスプレー	殺虫殺菌剤	94249	マイター液剤	除草剤	93074	モンカットフロアブル40	殺菌剤
97169	ベニカベジフルスプレー	殺虫剤	93692	マイトコーネフロアブル	殺虫剤	91695	モンカット水和剤	殺菌剤
98325	ベニカベジフル乳剤	殺虫剤	93368	マイネックス	殺虫剤	92047	モンカット水和剤50	殺菌剤
94728	ベニカマイルドスプレー	殺虫殺菌剤	90645	マイマイベレット	殺虫剤	92050	モンカット粒剤	殺菌剤
94888	ベニカマイルド液剤	殺虫殺菌剤	96552	マキシム40	殺菌剤	93991	モンガリット粒剤	殺菌剤
98342	ベニカワイドケアスプレー	農業肥料	98863	マグンプK 殺虫剤入り	農業肥料	91374	ユーゲサイドD	誘引・誘殺・交尾阻害剤
94974	ベニカ液剤	殺虫剤	94124	まくびか	その他	95284	ユニフォーム粒剤	殺菌剤
94295	ベニカ水溶剤	殺虫剤	97598	マスタピース水和剤	殺菌剤	81274	ヨーバルターポフロアブル	殺虫剤
94296	ベニカ粒剤	殺虫剤	93448	マッチ乳剤	殺虫剤	98778	ヨーバルフロアブル	殺虫剤

コード	名称	用途	コード	名称	用途	コード	名称	用途
90735	ヨネポン	殺虫殺菌剤	90094	園芸ボルドー	殺虫殺菌剤			
91824	ヨネポン水和剤	殺虫殺菌剤	93215	家庭園芸用オルトラン水和剤	殺虫剤			
94723	ライメイフロアブル	殺菌剤	94308	家庭園芸用オルトラン粒剤	殺虫剤			
91113	ラウンドアップ	除草剤	97600	家庭園芸用カリグリーン	殺菌剤			
94462	ラウンドアップマックスロード	除草剤	93226	家庭園芸用スミチオン乳剤	殺虫剤			
94768	ラクサー乳剤	除草剤	93206	家庭園芸用ダイアジン粒剤3	殺虫剤			
94649	ラクサー粒剤	除草剤	93327	家庭園芸用トップジンMゾル	殺菌剤			
98073	ラクトガード水和剤	殺菌剤	95789	家庭園芸用バシレックス水和剤	殺虫剤			
93738	ラグビーMC粒剤	殺虫剤	94317	家庭園芸用マラソン乳剤	殺虫剤			
90472	ラッソー乳剤	除草剤	93177	家庭園芸用レンテミン	殺菌植調剤			
98551	ラディアントSC	殺虫剤	93178	家庭園芸用レンテミン液剤	殺菌植調剤			
93251	ラノーテープ	殺虫剤	92705	撒粉ボルドー粉剤DL	殺菌剤			
93015	ラノー乳剤	殺虫剤	90001	除虫菊乳剤3	殺虫剤			
90993	ラビサンスプレー	殺虫剤	81197	青枯革命	殺菌剤			
92810	ラビデン3S	その他	90163	石灰窒素50	その他			
98065	ラミック顆粒水和剤	殺菌剤	94343	石灰窒素50防散	その他			
92421	ラリー水和剤	殺菌剤	90053	石灰窒素55	その他			
92422	ラリー乳剤	殺菌剤	90002	石灰硫黄合剤	殺虫殺菌植調剤			
91203	ランダイヤ粒剤	殺虫剤	93634	草ノコラーズ	除草剤			
93929	ランネット45DF	殺虫剤	99000	草刈りサクサク原液	除草剤			
90787	ランネット微粒剤F	殺虫剤	93446	草枯らし	除草剤			
93785	ランマンフロアブル	殺菌剤	98572	草消滅	除草剤			
95311	リーフガード顆粒水和剤	殺虫剤	92396	炭酸ガス	殺虫剤			
94328	リクトップ	殺虫剤	81195	置型しなもん	殺菌剤			
92089	リゾレックス水和剤	殺菌剤	95189	展着パウダー30	その他			
92090	リゾレックス粉剤	殺菌剤	94724	展着剤ササラ	その他			
95214	リドミルゴールドMZ	殺菌剤	91211	塗布用ビーエー	植物成長調整剤			
92255	リドミル銅水和剤	殺菌剤	91451	塗布用ベアニン	植物成長調整剤			
91956	リドミル粒剤2	殺菌剤	93422	粘着くん液剤	殺虫殺菌剤			
98421	リナセル顆粒水和剤	殺菌剤	90238	農薬用(ボルドー液用)粉末生石灰	その他			
94653	リノーエース	その他	95315	粉衣用ベアークスミンD	殺虫殺菌剤			
98070	リモニカ	殺虫剤	90074	粉状丹礬	殺菌剤			
94510	リンパー顆粒水和剤	殺菌剤	94831	野菜ひろばN	殺虫剤			
92080	ルビゲン水和剤	殺菌剤	93271	野菜用ハndsプレー	殺虫剤			
81114	ルミビアFS	殺虫剤	94449	野菜類種子消毒用ドイツボルドーA	殺菌剤			
94862	レーバスフロアブル	殺菌剤	90072	硫黄粉剤50	殺虫殺菌剤			
99161	レシーブ乳剤	殺虫剤	90197	硫黄粉剤80	殺虫殺菌剤			
91542	レンテミン	殺菌植調剤	94019	硫黄粒剤	殺菌剤			
92451	レンテミン液剤	殺菌植調剤	90240	硫酸銅	殺菌剤			
92184	ロディーくん煙顆粒	殺虫剤	90064	硫酸銅(粉)	殺菌剤			
92182	ロディー乳剤	殺虫剤	90077	硫酸銅(粉状)	殺菌剤			
98515	ロハピ	殺虫殺菌剤	91982	粒状石灰窒素	その他			
92834	ロブラール500アクア	殺菌剤	90143	粒状石灰窒素40	その他			
92511	ロブラールくん煙剤	殺菌剤	90725	粒状石灰窒素55	その他			
91055	ロブラール水和剤	殺菌剤						
92961	ロムダンフロアブル	殺虫剤						
90393	ロロック	除草剤						
95177	ワイドコート	その他						
94589	ワイドヒッター顆粒水和剤	殺菌剤						
93506	ワンサイドP乳剤	除草剤						